

2019年8月28日
大阪府議会2025年大阪・関西万博推進特別委員会

大阪・関西万博の開催に向けた取組み

**EXPO
2025**
OSAKA, KANSAI, JAPAN

2019年8月
大阪府政策企画部万博協力室

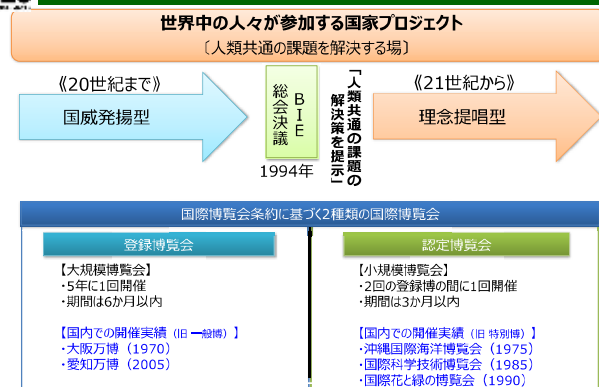
〔本日の内容〕

- 1 国際博覧会について
- 2 大阪・関西万博の概要
- 3 万博開催の意義
- 4 これまでの誘致活動
- 5 開催に向けた現在の取組み

2

1 国際博覧会について

1-1 万博の推移



※ 1996年以前は「一般博」と「特別博」に区分されていたが現在は「登録博」と「認定博」に区分されている。

4

1-2 過去の国際博覧会とそのテーマ

- 当初は国威発揚や殖産興業がテーマの中心であったが、1994年BIE総会において「人類共通の課題の解決策を提示」が決議され、21世紀に入り、地球的課題と人類社会の持続的な発展がテーマの中心に。

開催年	BIE分類	イギリス	開催国	名称	テーマ
1851		イギリス		ロンドン万国博覧会	
1853		フランス		パリ万国博覧会	
1855		フランス		パリ万国博覧会	
1876		フランス		パリ万国博覧会	
1877		フランス		パリ万国博覧会	
1878		フランス		パリ万国博覧会	
1879	一般博	日本		日本万国博覧会（大阪万博）	人類の進歩と調和
1874	特別博	アメリカ		セントルイス万国博覧会	自然の恵み
1875-1876	特別博	日本		沖縄国際海洋博覧会	海—その望ましい未来
1882	特別博	アメリカ		セントルイス万国博覧会	エネルギー—世界の原動力
1884	特別博	アメリカ		セントルイス万国博覧会	人類の進歩—社会の進歩
1885	特別博	日本		国際科学技術博覧会（つくば博）	人類、居住、環境と科学技術
1886	特別博	カナダ		バンクーバー万国博覧会	動植物、自然と世界
1888	特別博	オーストラリア		ブリスベン万国博覧会	技術と文明の進歩
(1990)	(特別博・国営博)	(日本)		(国際花と緑の博覧会)	(花と緑と人類生活のつながりを捉え、21世紀に向けて築いていくべき豊かな社会の創生を目指す。)
1992	一般博	スペイン		セビリア万国博覧会	人類の進歩と調和
1992	特別博	イタリア		ヴェネチア万国博覧会	文化と芸術の進歩
1993	特別博	韓国		大田(釜山)万国博覧会	発展の途にある新しい進歩の世紀
1998	特別博	ドイツ		ハンノイ万国博覧会	海洋—未来への道
2000	一般博	イタリア		パレルモ万国博覧会	人類の進歩と調和
2005	登録博	日本		2005年日本国際博覧会（愛知万博）	自然の恵み
2008	認定博	スペイン		リャグロ国際博覧会	水・都市の持続可能な開発
2010	登録博	中国		上海国際博覧会	より良い都市、より良い生活
2012	認定博	韓国		釜山万国博覧会	未来の都市と文化
2015	登録博	イタリア		ミラノ万国博覧会	持続可能な社会、未来のエネルギー
2017	認定博	アラブ首長国		ドバイ万国博覧会	未来のエネルギー
2020	登録博	アラブ首長国		ドバイ万国博覧会	心をつなぐ、未来を創る
2023	認定博	アルゼンチン		ブエノスアイレス国際博覧会	人類発展への科学、革新、芸術、創造性

5

1-3 日本における国際博覧会

	1970年	1975年	1985年	1990年	2005年
名称	大阪万博	沖縄海洋博	つくば博	大阪国芸博（花博）	愛知万博（愛・地球博）
区分	登録博（一般博）	認定博（特別博）	認定博（特別博）	認定博（特別博）	登録博
テーマ	人類の進歩と調和	海—その望ましい未来	人間・居住・環境と科学技術	—	自然の恵み
来場者数	約6400万人	約350万人	約2000万人	約2300万人	約2200万人
参加国等	76か国 4国際機関	36か国 3国際機関	47か国 37国際機関	82か国 55国際機関	121か国 4国際機関

⇒ 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）は、大規模な「登録博覧会」

6

2 大阪・関西万博の概要

2-1 大阪・関西万博のテーマ

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン
「Designing Future Society for Our Lives」

サブテーマ

- ◆多様で心身ともに健康な生き方
- ◆持続可能な社会・経済システム
- 真の豊かさを感じられる生き方、それを可能にする経済・社会の未来像を参加者で共に創る。

コンセプト

未来社会の実験場「People's Living Lab」

7

8

EXPO 2025 2-2 大阪・関西万博の概要

■名称
◆日本語（正式）：2025年日本国際博覧会 /（略称）：大阪・関西万博
◆英語：EXPO2025, OSAKA, KANSAI, JAPAN

■開催期間
2025年5月3日（土）～11月3日（月）までの185日間

■開催場所
夢洲
約155ha

■入場者（想定）
約2,800万人

■開催経費
<会場建設費>
1,250億円（想定）
<運営費>
820億円（想定）

資料提供：経済産業省

EXPO 2025 2-3 会場イメージ

大広場「望」

会場内から「望む」と呼ばれる大広場を設置し、8月5日が技術交流の場となる。新着の交流の場となる。

東側面にやさしい会場

美しい景観

資料提供：経済産業省

EXPO 2025 2-4 会場構想（めざす万博のイメージ）

■「待ち時間ゼロ」の万博

- 会場内の移動時間等を活用した参加型実証実験を行うことで、体験あふれる環境を提供
- IoT活用により、施設の空き状況を明確化し、会場を快適に巡ることができる

■「EXPOテーマ体験」プログラム

- 来場前にPeople's Living Labの特設サイト上のバーチャル会場で出迎えの演出
- 来場者へのオリエンテーションとガイダンスを通して、テーマやメッセージを映像や展示を中心に紹介
- 未来社会の共創の体験ができるプログラムを実施

⇒「10歳若返る万博」
「健康になる万博」をめざす

資料提供：経済産業省

EXPO 2025 2-5 会場へのアクセス（輸送の流れ）

○ 総来場者数 2,820万人（国内 2,470万人、海外 350万人）
○ 計画日來場者数 28.5万人（国内 25万人、海外 3.5万人）
○ 期間に1人あたり

計画日來場者（28.5万人）

輸送手段内訳

- 鉄道 11.4万人 (40%)
- シャトルバス 5.7万人 (20%)
- 自動車 11.4万人 (40%)

資料提供：経済産業省

EXPO 2025 2-6 会場へのアクセス（輸送ルート）

資料提供：経済産業省

EXPO 2025 2-7 会場へのアクセス（輸送ルート）

資料提供：経済産業省

EXPO 2025 3-1 2025年万博開催の意義

- 万博が持つ、「圧倒的な求心力・発信力」「世界との出会いによる人の交流促進」により、イノベーションを巻き起こし、日本経済を活性化。
- 万博には世界中の叡智が結集。人類共通の課題の解決を提示。大阪・関西・日本発の技術や取組みが世界の健康長寿など様々な課題解決に貢献。SDGs（持続可能な開発目標）達成にも寄与。
- 経済波及効果は約2兆円にのぼる。2020年東京オリンピック・パラリンピック後の大阪・関西・日本の成長を牽引する起爆剤に。

資料提供：経済産業省

EXPO 2025 3-2 キーワード「SDGs」

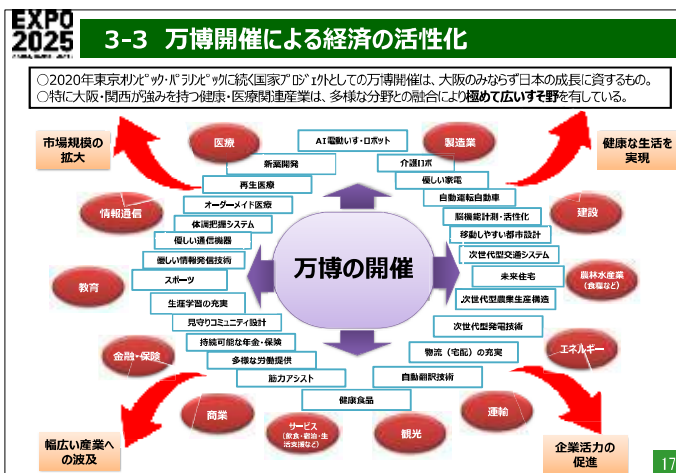
○2015年国連サミットで、2030年までの国際目標として、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択

○17のゴールからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」を掲げている。⇒これら課題の解決により地球上の誰もが住みやすい環境づくりを！⇒2025年時点で大阪・関西から解決策を世界に発信しよう！

※SDGs：Sustainable Development Goals

- 貧困をなくそう
- 飢餓をゼロに
- すべての人に健康と福祉を
- 質の高い教育をみんなに
- ジェンダー平等を実現しよう
- 安全な水とトイレを世界中に
- エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- 働きがいも経済成長も
- 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 人や国の不平等をなくそう
- 住み続けられるまちづくりを
- つくる責任、つかう責任
- 気候変動に具体的な対策を
- 海の豊かさを守ろう
- 陸の豊かさを守ろう
- 平和と公正を全てのの人に
- パートナーシップで目標を達成しよう

資料提供：経済産業省



3-4 経済波及効果

○会場建設による投資、企業の出展などの運営に加えて、交通、宿泊、飲食、買い物などの消費支出などが相まって、経済波及効果は全国で約2兆円と試算されている。

万博の経済波及効果 (単位: 兆円)

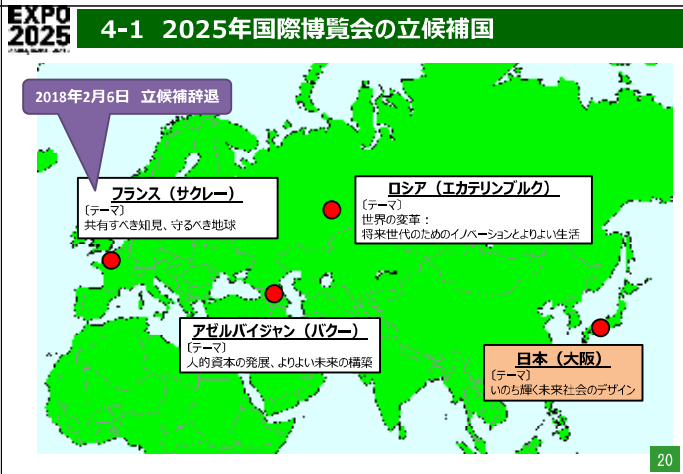
	建設費	運営費	消費支出	計
最終需要	0.2	0.2	0.7	1.1
経済波及効果	0.4	0.4	1.1	1.9

資料: 2025国際博覧会検討会報告書(経産省) 2017年3月

約2兆円

さらに、万博のコンセプト等に関わる分野での市場の伸長や企業の投資、会場外、開催期間前後の消費需要拡大、関連する大規模イベント開催等の間接的な誘発

4 これまでの誘致活動



4-4 BIE総会における投票結果

【第1回目】	156票
◎日本	85票
◎ロシア	48票
アゼルバイジャン	23票

【決選投票】	155票
◎日本	92票
ロシア	61票
棄権	2票

BIE総会会場 (OECDカンファレンスセンター)

ビューイング会場 (中之島)

道頓堀

5 開催に向けた現在の取り組み

EXPO2025

5-1 2025年日本国際博覧会協会の概要

■ 名称

一般社団法人 2025年日本国際博覧会協会（公益社団法人へ移行予定）

■ 目的

2025年日本国際博覧会の準備及び開催運営等を行い、博覧会を成功させることをもって、国際連合の掲げる持続可能な開発目標の達成に貢献するとともに、わが国の産業及び文化の発展に寄与することを目的とする。

■ 設立日

2019年1月30日（事務所開設2月1日）

■ 主たる事務所の場所

大阪府吹洲庁舎43階

■ 役員構成

会長：中西 経団連会長
副会長：松本 関西連会長、尾崎 関西商工会議所連合会会長・大商会議、池田 関西経済同友会代表幹事、立石 京商会議、家次 神奈川会議、三村 日商会議、櫻田 経済同友会代表幹事、吉村 大阪府知事、松井 大阪市長、井戸 関西広域連合会長
監事：小原 さっかわ法律事務所代表弁護士、中務 中務公認会計士・税理士事務所所長

■ 事務局体制

事務局

企画局

整備局

国際局

（総務、広報報道、契約、経理、公益認定申請 など）

（登録申請書の作成、基本計画の策定 など）

（会場整備計画、交通対策 など）

（BIE総会、BIE加盟国との調整 など）

※人員：国・大阪府・大阪市・経済界より職員を派遣。職員数：105名（2019年8月現在）

25

EXPO2025

5-2 最近の主な動きと今後のスケジュール

<最近の動き>

2019年	1月30日	（一社）2025年日本国際博覧会協会設立
	4月19日	万博特措法の成立
	5月15日	博覧会協会の臨時社員総会・理事会で理事、事務総長、副事務総長選任
	5月28日	BIE（博覧会国際事務局）総会で、進捗状況報告
	5月31日	国が博覧会協会を、特措法に基づき準備・運営法人として指定
	6月27日～29日	G20大阪サミット会場「大阪・関西魅力発信スペース」等において、大阪・関西万博のPR活動を展開

<今後のスケジュール>

年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
スケジュール	開催国決定	11/23 「一般社団法人 博覧会協会」設立 年内 公益社団法人へ移行 年内 登録申請書の提出（自願）	6月 BIE総会 （登録申請書の承認） 秋頃 基本計画の策定 10月～ ドバイ博（登録） （予定）4月まで	正式な参加国時の開始 会場整備計画の検討 法令手続き	実施設計	会場建設工事	1月～4月 ブエノスアイレス博（開催）	5月～11月 万博開催

26

EXPO2025

5-3 今後の主な課題

①登録申請文書の提出（2020年5月期限）

②参加国の招請（2020年6月以降）

③開催費用の確保

④観客輸送の計画、関連公共事業の実施

⑤2025年に向けた機運の盛り上げ

等

27

資料 1

2017年10月24日
大阪府議会2025年国際博覧会誘致特別委員会

2025年国際博覧会の大阪誘致に向けた取組みについて

OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO2025

World Expo 2025
Candidate

政策企画部
万博誘致推進室

目次

1. 国際博覧会について	3
2. 2025年国際博覧会の立候補国について	9
3. 誘致体制について	13
4. 「2025日本万国博覧会誘致戦略」について	16
（1）海外誘致活動の取組み	19
（2）国内機運醸成の取組み	27
5. 誘致に向けた課題と取組みの方向性	40

2

1. 国際博覧会について

3

1-1 国際博覧会とは

● 国際博覧会条約（以下「条約」という。）に基づき、複数の国が参加して行われる博覧会のこと。

● 博覧会は、大規模な博覧会（登録博覧会）と、2つの登録博覧会の間に開催される博覧会（認定博覧会）の2種類がある。

● 条約に基づき、国際機関である博覧会国際事務局（BIE:Bureau International des Expositions 本部はパリ）が設立されている。

● 万博の目的は20世紀までは「国威発揚型」であったが、1994年BIE総会において「人類共通の課題の解決策を提示」が決議され、21世紀からは理念促進型とされている。

登録博と認定博

	登録博覧会	認定博覧会
開催期間	6週間以上6か月以内	3週間以上3か月以内
会場規模	制限なし	25ヘクタール以内
開催時期	5の倍数の年ごと	2つの登録博覧会の間で1回

※これら2種類以外に、ミラノ（イタリア）で3年毎に開催されるトリエンナーレ及び国際園芸博覧会も条約上の国際博覧会と位置づけられている

4

1-2 過去の国際博覧会とそのテーマ

● 当初は国威発揚や産産興業であったが、1994年BIE総会において「人類共通の課題の解決策を提示」が決議され、21世紀に入り、地球的課題と人類社会の持続的な発展がテーマの中心に。

開催年	BIE分類	開催国	名 称	テーマ
1851		イギリス	ロンドン万国博覧会	
1853		アメリカ	ニューヨーク万国博覧会	
1855		フランス	パリの万国博覧会	
（中略）				
1857		フランス	パリの万国博覧会	「現代文明の栄光と芸術」
1870	一般博	日本	日本万国博覧会（大阪万博）	人類の進歩と調和
1874	特別博	アメリカ	セントルイス万国博覧会	自然と文明
1876～1876	特別博	日本	神戶万国博覧会	第一その星まじり未来
1892	特別博	アメリカ	セントルイス万国博覧会	エネルギーは世界の原動力
1894	特別博	アメリカ	セントルイス万国博覧会	人類の進歩と調和
1895	特別博	日本	神戶万国博覧会	人類、科学、環境と科学技術
1896	特別博	カナダ	バンクーバー万国博覧会	動く世界、ふれあう世界
1898	特別博	オーストラリア	ブリスベン万国博覧会	技術時代のレジーナ
（1990）	（特別博・認定博）	（日本）	（国際花と緑の博覧会）	「花と緑と人間生活のかかわりを探え、21世紀へ向けたいの多る豊かな社会の創生を目指す。」
1992	一般博	スペイン	セビリア万国博覧会	発見の時代
1993	特別博	イタリア	ジェノヴァ万国博覧会	水・都市の持続可能な開発
1993	特別博	韓国	大田（釜山）国際博覧会	人類の自然・環境
1998	特別博	オーストラリア	メルボルン万国博覧会	水・都市の持続可能な開発
2000	一般博	ドイツ	フランクフルト万国博覧会	水・都市の持続可能な開発
2005	登録博	日本	2005年日本国際博覧会（愛知万博）	自然の恵み
2008	登録博	スペイン	サラゴサ万国博覧会	水・都市の持続可能な開発
2010	登録博	中国	上海万国博覧会	より豊か、より持続可能な未来
2012	登録博	韓国	釜山万国博覧会	水・都市の持続可能な開発
2015	登録博	イタリア	ミラノ万国博覧会	水・都市の持続可能な開発
2017	登録博	カタール	ドハ万国博覧会	水・都市の持続可能な開発
2020	登録博	アラブ首長国連邦	ドバイ万国博覧会	水・都市の持続可能な開発

5

資料-4

1-3 日本は1970年大阪万博以来、5つの国際博覧会を開催

国際博覧会の開催は、日本の魅力を世界に発信する絶好の機会。開催地のみならず、日本を訪れる観光客が増大し、地域経済が活性化する「起爆剤」になる。

	1970年	1975年	1985年	1990年	2005年
名称	大阪万博	沖縄海洋博	つくば博	大阪国際博	愛・地球博
区分 ※1	一般博	特別博	特別博	特別博 (園芸博)	一般博
テーマ	人類の進歩と 調和	海ーその望ま しい未来	人間・居住・環 境と科学技術	ー	自然の叡智
来場者数	約6400万人	約350万人	約2000万人	約2300万人	約2200万人
参加国等	76か国 4国際機関	36か国 3国際機関	47か国 37国際機関	82か国 55国際機関	121か国 4国際機関

※1 1996年に現在の「登録博」と「認定博」に区分。それ以前は「一般博」と「特別博」に区分されていた。

6

1-4 博覧会国際事務局 (BIE:Bureau International des Expositions)

- 国際博覧会条約(以下「条約」という。)(1928年署名)に基づき、国際機関である博覧会国際事務局(BIE:Bureau International des Expositions)が設置されている。
- 本部はパリ。
- BIEは、博覧会主催国の選出、博覧会開催の監督を実施。
- 条約加盟国は170(2017年10月現在)。
- 総会議長はクリステンセン氏(デンマーク出身)、事務局長はロセルタレス氏(スペイン出身)。
- BIEの各国政府代表は、条約上、各国3人まで任命することができる。
- 日本政府代表は、内閣により3人(在仏日本大使館の次席公使など)が任命されている。
- 投票は1国1票である。

7

1-5 B I E加盟国と万博開催地決定ルール

BIE加盟国		
地域 (外務省分類)	加盟国 数	加盟国一覧(2017.6現在)
アジア(日本含む)	16か国	インドネシア、韓国、カンボジア、スリランカ、タイ、中国、朝鮮民主主義人民共和国、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、バチカン、モルディブ、モンゴル、オース、日本
大洋州	11か国	キリバス、サモア、ソロモン諸島、ツバル、トンガ、ナウル、ニューゼaland、バヌアツ、パラオ、フィジー、マーシャル諸島
北米	1か国	米国
中南米	30か国	アルゼンチン、アンティグア・バーブーダ、ウルグアイ、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、キューバ、グアテマラ、グatemala、エルサルバドル、コロンビア、ベネズエラ、セントビンセント及びグレナディーン諸島、セントルシア、チリ、ドミニカ、ドミニカ共和国、ニカラガ、パナマ、パナマ、パラグアイ、パペー、ペルー、ペネエ、ペルー、ホンジュラス、メキシコ
欧州(中央アジア含む)	47か国	アイスランド、アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、アンドラ、イタリ、ウクライナ、ウズベキスタン、英国、エストニア、オーストリア、オランダ、カザフスタン、キプロス、キルギス、クロアチア、コソボ、サンマリノ、タジキスタン、スウェーデン、スイス、スロバキア、スロベニア、スロバキア、セルビア、タジキスタン、チリ、デンマーク、ドイツ、トルクメニスタン、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベルギー、ベルギー、ポーランド、ポズニアヘルツェゴビナ、ポルトガル、マルタ、モナコ、モンテネグロ、リトアニア、ルーマニア、ロシア
中東	14か国	アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、トルコ、トルコ、レバノン
アフリカ	49か国	アルジェリア、アンゴラ、アンゴラ、ボツワナ、エジプト、エリトリア、ガボン、ガボン、ガボン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コモロ、コンゴ、コンゴ民主共和国、コンゴ民主共和国、ザンビア、シエラレオネ、ジンバブエ、スワジランド、セーシェル、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、チャド、中央アフリカ、チュニジア、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ、南スーダン、モーリタニア、モーリタニア、モザンビーク、モザンビーク、ジブチ、リビア、リビア、ルワンダ、レソト
合計	170か国	

■開催地決定ルール

- ・加盟国の投票(1回1票)による。
- ・1か国が2/3以上の支持を集めれば開催地に決定。
- ・最多得票数が2/3以上の支持を獲得できない場合、最下位の国を落として投票を繰り返す。
- ・残り2か国になったところで、過半数の支持を集めれば開催地に決定。

9

2. 2025年国際博覧会の立候補国について

2-1 2025年国際博覧会の立候補国



10

2-1 2025年国際博覧会の立候補国

国名	都市名	開催期間	テーマ	参考
フランス	パリ 郊外 サクレ	5月1日～ 10月31日	共有すべき知見、守るべき地球 (Sharing our Knowledge, Caring for our Planet)	・パリは過去6回開催。前回は1937 年開催。 ・パリは2024夏季オリンピック開催 決定。
日本	夢洲(大 阪市)	5月3日～ 11月3日	いのち輝く未来社会のデザイン (Designing Future Society for Our Lives)	・日本開催は2005年愛知以来。 ・大阪開催は、1990年国際花と緑 の博覧会(特別博)以来。 ⇒資料2 ビッド・ドシエ参照
ロシア	エカテリ ンブルグ	5月2日～ 11月2日	世界の変革：将来世代のための イノベーションとよりよい生活 (Changing the World: Innovations and Better Life for Future Generations)	・ロシアは過去開催実績無し。 ・エカテリンブルグはスウェーデン の州の州都でウラル地域の工 業・文化の中心。人口約140万人。 ・エカテリンブルグは2020年万博に 立候補したが決選投票でバイに 敗れる。
アゼルバ イジャン	バクー	5月10日～ 11月10日	人的資本の発展、よりよい未来 の構築 (Developing human capital, building a better future)	・アゼルバイジャンは過去開催実 績無し。 ・バクーはアゼルバイジャン共和国 の首都で人口約200万人。 ・バクーは2020夏季オリンピックに 立候補したが敗れる。

資料: BIEホームページ、地誌情報等をもとに、万博誘致推進室で作成。

11

2-2 2025年国際博覧会の決定までのスケジュール

時期	内容
2017年9月25日	BIE事務局へ開催申請文書(ビッド・ドシエ)提出
2017年11月15日	BIE総会(第2回プレゼンテーション)
2018年1～3月頃 (予定)	BIE調査団の来日 ※BIE調査団は、立候補国を順次訪問予定
2018年6月	BIE総会(調査団報告書をもとに、執行委員会が各立候補国を次回 11月総会における投票に進めさせてよいか否かについて勧告を出し、 総会において採決。第3回プレゼンテーション。)
2018年11月	BIE総会(最終プレゼンテーション後、投票で開催国を決定)

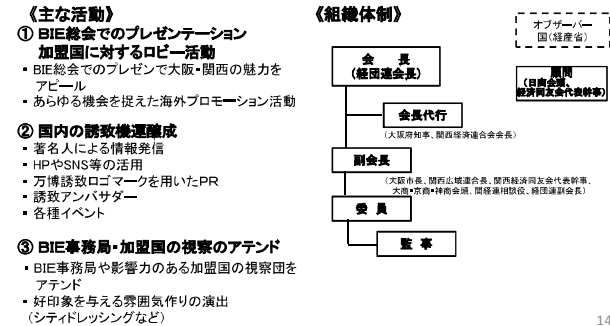
12

3. 誘致体制について

13

3-1 2025日本万国博覧会誘致委員会

■ 誘致委員会とは…誘致活動を推進する官民連携の全国（オールジャパン）組織
（会長）榊原経国連会長
（設立）2017年3月27日
（会員）設立当初、55企業・団体、60行政機関、山中教授など27名（※当初）



14

3-2 国等との役割分担

- ＜役割分担の考え方＞
- ① 国（外務省・経済産業省をはじめとする関係省庁）、誘致委員会（自治体、経済界）が一体となって誘致活動を展開
・ 国、自治体、経済界がそれぞれの役割や強みを活かし、三位一体で効果的に支持要請を行う。
（役割分担例）
国………〔国を代表する立場〕 日本での万博開催意義・内容、開催コンセプトを各国に伝え、支持拡大を目指す
自治体……〔地元開催地を代表する立場〕 大阪・関西での万博開催意義、地域の魅力をアピール、ホストシティとしての熱意を示す
経済界……〔民間での活動を代表する立場〕 今回の万博のテーマに基づき課題解決のための具体的技術支援の提示、民間の有する様々なチャンネルを通じたプロモーション活動を行う
 - ② 協力していただけるセクターとは積極的に連携し、効果的にプロモーション活動を進める
・ 国際的な活動を行う財団や協会、N G Oに加えて誘致に前向きな自治体、議会など、さまざまな団体と積極的に連携し、あらゆる角度からB I E加盟国に対して、働きかけを行う。

15

4. 「2025日本万国博覧会誘致戦略」について

16

4-1 誘致委員会「2025日本万国博覧会 誘致戦略」

「2025日本万国博覧会誘致戦略」（平成29年9月 誘致委員会において策定）
➢ 誘致活動を取り巻く状況を踏まえて、「海外誘致」と「国内機運醸成」について、今後取り組むべき戦略を打ち立て、各主体と共有することによって、誘致活動を総合的、かつ効果的・効率的に推進する。

誘致活動の基本方針

- ① 海外誘致活動
・ BIE加盟国のうち、より多くの国が日本、大阪・関西を支持してくれることを目指す。
そのため、国と連携しつつ、自治体、経済界などがもつ、あらゆるチャンネルを活かすとともに、国際会議などの機会を効果的に活用し、万博開催テーマの意義や、日本、大阪・関西の魅力について、理解を求め、支持を働きかける。
- ② 国内機運醸成
・ 日本が立候補4か国の中で、最も国内機運が醸成されていることを目指し、できるだけ数値等で国内外に示す。
⇒他国を圧倒する機運醸成に向け、自治体、経済界の主体的な取組みを広げ、会員数や賛意を示す人々を増やす。これを数値等で明示し、BIE総会、誘致委員会HP等でアピール。
⇒2018年1～3月のBIE現地調査において、国内、地元機運の高まりを調査団が体感できるように取り組む。

17

4-1 誘致委員会「2025日本万国博覧会 誘致戦略」

今後の取り組むべき方向性

この間の誘致活動を取り巻く状況をふまえ、誘致委員会では今後の取り組むべき戦略を打ち立て、各主体と共有することによって、誘致活動を総合的、かつ効果的・効率的に進めていく。

- ① 海外誘致活動
・ 4か国による誘致競争を勝ち抜くため、まずは、BIE加盟国に対し、全方向的にあらゆる外交ルート・国際会議等の機会を通じて、日本、大阪・関西のPRを実施。
・ 万博に向けて生み出される新技術等の発信を通じて、国連が掲げるSDG s（持続可能な開発目標）の実現に向け貢献していくこともアピール。
・ 国、経済界、自治体が三位一体となり、国による外交交渉のほか、議員、自治体、企業、団体等と協力し、様々なルートを活用しながらプロモーション活動に取り組む。各国の反応をふまえ、各国毎にきめ細かい働きかけを行っていく。
- ② 国内機運醸成
・ 地元大阪・関西から機運醸成の取組みを率先して進め、ひいては日本全体での機運を高めていく。
2018年1月～3月のBIE現地調査に向け、自治体、企業等と連携し、誘致委員会会員数の上積みや各自治体での決議をはじめとする国内機運醸成の取組みを展開する。
・ 各主体による自発的な取組みを基本とし、誘致委員会は各主体の取組みを促す環境づくりなど重点的に取り組む。
・ 万博のテーマである「いのち輝く未来社会」づくりの取組み等を共有することで、国内各界各層に万博の意義等の浸透を図るとともに、期待感の向上に取り組む。

18

4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

◆BIEへの立候補申請、総会の機会を捉え、BIE政府代表者、各国要人に対して万博誘致を働きかけ

〔B I Eへの立候補申請・B I E総会〕

（i）立候補申請（4/24）の機会を捉えたプロモーション活動
プロモーション団：（国）木寺 駐仏大使、住田 経済産業省商務流通保安審議官
（誘致委員会）榊原 会長、松井 会長代行 他

（ii）総会（6/14）の機会を捉えたプロモーション活動
プロモーション団：（国）木寺 駐仏大使、住田 経済産業省商務流通保安審議官
（誘致委員会）榊原 会長、松井 会長代行、松本 会長代行、吉村 副会長 他

- 各国在仏大使等に対する万博誘致の働きかけ（約30か国）
- 総会でのプレゼンテーションの実施
・ 誘致を目指す2025日本万国博覧会のコンセプトをPR（榊原会長）
・ 開催候補地である大阪・関西の魅力やポテンシャルをPR（松井会長代行）



19

4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

◆2017年カザフスタン アスタナで開催の国際博覧会（認定博）の開会式、ジャパンデー、開会式等においてBIE政府代表者、各国要人に対して万博誘致を働きかけ

〔アスタナ国際博覧会〕

（i）開会式（6/9）及び日本館開館式（6/10）等におけるプロモーション活動
プロモーション団：（国）川端 駐カザフスタン大使、小瀬 経済産業省大臣官房審議官
（誘致委員会）吉村 副会長、尾崎 副会長 他

- 開会式において、プロモーション団から各国要人に対し、万博誘致を働きかけ
- 日本館開館式典において、万博誘致をPR
- 開会式に出席した10数か国のBIE政府代表者等に対し、万博誘致を働きかけ



20

4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

〔アスタナ国際博覧会〕（ii）カリブデー（7/14）等におけるプロモーション活動

プロモーション団：（国）川端 駐カザフスタン大使（自治体）新井 大阪府副知事
（誘致委員会）鈴木 副会長、樺（いちのさ） 事務総長 他
○7月14日のアスタナ博「カリブデー」にあわせ、政府要人等が会場を訪れる機会を捉えた、万博誘致の働きかけ
○約10か国のバリエオンを訪問し、万博誘致を働きかけ



21

4-2 海外誘致活動 (①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR)

【アスタナ国際博覧会】(iii) ジャパンデー(7/22)等におけるプロモーション活動

- プロモーション団：(国) 世耕 経済産業大臣、川端 駐カザフスタン大使
(誘致委員会) 松井 会長代行、松本 会長代行 他
- 7月22日のアスタナ博「ジャパンデー」の開会式典、大阪パレード及びレセプションに出席し、万博誘致をPR
 - 約10か国のパビリオンを訪問し、万博誘致を働きかけ
 - カザフスタン政府を表敬訪問



22

4-2 海外誘致活動 (①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR)

【アスタナ国際博覧会】(iv) 閉会式(9/10)におけるプロモーション活動

- プロモーション団：(国) 西銘 経済産業副大臣、川端 駐カザフスタン大使 他
(自治体) 新井 大阪府副知事
(経済界) 西村 大阪商工会議所副会頭
植松 関西経済連合会国際委員会副委員長
(誘致委員会) 榎 事務総長
- 9月10日アスタナ博閉会式典の機会を捉え、万博誘致をPR
 - 約10か国のパビリオンを訪問、万博誘致を働きかけ



23

4-2 海外誘致活動 (①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR)

◆TICAD(アフリカ開発会議)において、国、経済界、誘致委員会が一体となって、二か国会議、イベントを通じて働きかけ

【TICAD(アフリカ開発会議 8/24)】

- プロモーション団：(国) 河野 外務大臣、堀井 外務省副官、池上 外務省経済局政策課長
(経済界) 鴻池 大阪商工会議所常議員 (7/14協賛副会長)、遠藤 住友電装執行役員
(誘致委員会) 吉村 副会長 他
- 二か国会談における働きかけ、TICAD関係会合でサイドイベントで吉村副会長がプレゼンテーション

【南アフリカにおける誘致活動(8/25)】

- プロモーション団：(国) 池上 外務省経済局政策課長
(経済界) 鴻池 大阪商工会議所常議員 (7/14協賛副会長)、遠藤 住友電装執行役員
(誘致委員会) 吉村 副会長
- 政府関係者、関係国の大使等に万博誘致を働きかけ



24

4-2 海外誘致活動 (② 他国の政府要人の訪日機会を捉えたPR)

◆ASEAN経済大臣会合など、他国政府要人の訪日機会を捉えて、万博誘致を働きかけ

【ASEAN経済大臣会合(歓迎昼食会 4/8)】

- 出席者：(国) 世耕 経済産業大臣 (経済界) 西村 大阪商工会議所副会頭
(誘致委員会) 松井 会長代行、森 会長代行、吉村 副会長、塚山 副会長 他
- 歓迎昼食会において、アジアで開催する万博の意義など、万博誘致を働きかけ



25

4-2 海外誘致活動 (③ その他主体での取組み)

◆政府、国会議員連盟等の活動に加えて、自治体等による友好交流都市や、地方議会による友好議員連盟等の議員外交により、万博誘致を推進

【その他主体での取組み】

- 政府：様々な外交ルートを活用した各国への万博誘致の働きかけ
 - ・政務レベルでの各国政府要人への支持要請や、在外公館から先方政府への働きかけ
 - ・各国BIE政府代表への働きかけ
 - ・在京大使館への働きかけ(外務省幹部から在大使等への働きかけ)
 - ・日本に招聘した海外記者への万博開催テーマの意義等を説明・PR
- 国会議員連盟等：二国間友好議連等をはじめ議員外交の活用
 - ・国会議員の外遊時の万博誘致の働きかけ
 - ・二国間議連等による大使館に対する万博誘致の働きかけ(6～9月)
- 自治体等：友好交流都市及び姉妹都市、ビジネスパートナー都市等へのプロモーション
 - ・駐日大使等の表敬訪問時の働きかけ
 - ・在関西領事館、国際交流関連協会への働きかけ
- 地方議会：大阪府議会友好議連をはじめとする議員外交の活用
 - ・海外からの表敬訪問時(上海人民代表大会常務委員会 など)
 - ・海外への友好訪問時(関西府県議会日中友好訪問団、自民党大阪府議団のカンボジア・イギリス・フランス訪問 など)

26

4-3 国内機運醸成 (①誘致委員会による取組)

◆2017年3月27日の誘致委員会発足後、誘致活動のベースとなる取組み(ロゴマークによるPR、会員等賛同者の募集、グッズ等の配布、イベント等を実施)

- ・誘致委員会発足式典(誘致アンバサダー「ダウンタウン」による情報発信:3/27)
- ・誘致委員会HPの開設(日英仏語対応:4/21)
- ・万博誘致ロゴマークの選定(6/7)、
- ・グッズの作成・配布・掲揚・販売(ピンバッジ、ポスター、チラシ、懸垂幕、のぼり、ポロシャツ等)
- ・誘致委員会会員等賛同者の募集：
 - ・小学生を対象とした万博絵画展の公募(7/6～9/30)
- ・誘致アンバサダーに、歌舞伎俳優の中村鴈治郎さん・片岡愛之助さんが就任(9/5)



27

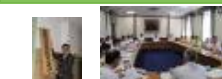
4-3 国内機運醸成 (②大阪府万博誘致推進本部における取組み)

- ◆本年4月、知事を本部長とする「大阪府万博誘致推進本部」を設置機運醸成に取り組みとともに、万博のテーマを先取りしたビジョンの本年度策定などを推進
- ◆今月、推進本部において、誘致委員会の戦略を踏まえた大阪府の取組み方針を策定府の協力をあけて、機運醸成のための取組みを展開していくことを決定

*BIE現地調査(来年1～3月)に向けて、調査ルートなどを踏まえたシティレッシングなどにも取組み、地元大阪の盛り上がりや万博に向けた熱意をしっかりとアピールしていく。

【今後の大阪府としての取組み方針】

- 平成29年9月決定
- 府は本トシにおいて、誘致委員会の中核的な役割を果たし、地方の熱意や機運を国内外に波及させる。そのため、府は、関西広域連合や市町村と連携しながら、関係部局の協力をあけて誘致活動を展開していく。
 - 今後、府は、各主体の取組みを促す環境づくりに取り組む誘致委員会と連携し、関係部局がそれぞれの創意工夫を凝らし、様々な機会を通じて、自発的な取組みを展開していく。



大阪府万博誘致推進本部(平成29年4月設置)
「大阪府の万博(未来社会)をめざすビジョン」を本年度策定予定

今後の具体的な機運醸成の取組み

- 地元大阪における機運醸成に、創業工夫をこらして取組み、府民へアピールするとともに、関係団体へ働きかける。
- 万博のテーマである「いのち輝く未来社会」の取組み等を大阪府から発信することで、各界各層に万博の意義等の浸透を図るとともに、誘致に円滑な機運を醸成する。
- 万博の意義の理解促進、万博に向けた取組みに参画を促すための活動
 - ・セミナー等の様々な機会を通じて、各界各層に万博の意義等を浸透
 - ・大阪府の万博(未来社会)をめざすビジョンの具体化
- BIEによる現地調査への対応
 - ・シティレッシング、他で万博の取組みを模索(「ビズ」・「サテ」・「パワ」等)
 - ・様々な手段により誘致機運を醸成(万博機運醸成最前線の効果的な活用等)など

28

4-3 国内機運醸成 (③大阪府議会における誘致活動の展開)

- ◆「大阪府議会における万博誘致活動の指針」を策定(平成29年7月)
⇒大阪府議会では、大阪府、誘致委員会等との密接な連携と役割分担のもと、ネットワークを最大限に生かしながら、機運の醸成や関係国への働きかけなど、誘致実現に貢献できる活動を展開中

主な広報活動

- ◆ 高校生向け出前授業において「万博」の取組みについて紹介、意見交換の実施
- ◆ テレビ広報、府議会だより(広報紙)、ホームページ・SNSで、「万博誘致活動」の取組みを紹介
- ◆ ポスターで「万博」をPR(万博誘致ロゴ掲載) など



全国都道府県議会等への万博誘致実現に向けた支援の要請

- ◆ 全国都道府県議会連合会定例会で「『2025日本万国博覧会』の大阪・関西誘致に関する決議」が議決(平成29年7月25日)
- ◆ 関西広域連合議会において「2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致に関する決議」が議決(平成29年8月24日)
- ⇒13都道府県議長会議(平成29年1月26日)、近畿2府8県議長会議(平成29年8月30日)において、大阪府議会議長が、各府県議会における決議をはじめ、万博誘致実現に向けた支援を要請

29

4-3 国内機運醸成 (④万博誘致に向けた決議の広がり)

- ◆大阪府議会、大阪市会をはじめとする府内34市町村議会で、「2025年万博の大阪誘致に積極的に取り組む」旨を決議
- ◆関西広域連合、関西広域連合議会をはじめ、全国知事会、全国都道府県議長会などにおける決議もいただき、今後、大阪・関西から全国へと拡大に向けて取り組んでいく

大阪府・大阪市・市町村

- ・平成28年11月4日 大阪府議会 決議
＜府内市町村＞
 - ・平成28年11月15日 大阪市会 決議
 - ・平成29年5月9日 大阪府市長会 決議
5月16日 大阪府町村議長会決議
 - ・平成29年3月30日～9月29日 堺市議会 他 32市町村議会決議
 - ・平成29年10月2日 大阪府町村議長会
- 大阪府議会・34市町村議会で決議

関西広域連合

- ・平成28年9月22日 関西広域連合 決議
- ・平成28年8月24日 関西広域連合議会決議
- ・平成29年9月28日 和歌山県議会
- ・平成29年9月28日 福井県議会
- ・平成29年10月5日 神戸市会
- ・平成29年10月6日 徳島県議会
- ・平成29年10月11日 鳥取県議会
- ・平成29年10月20日 奈良県議会

自治体・議会の連合会等による決議

- 平成29年 5月18日 近畿市長会
- 7月11日 指定都市市長会
- 7月25日 全国都道府県議長会
- 7月28日 全国知事会
- 8月4日 兵庫県町村会
- 9月20日 近畿府県町村会

30

4-3 国内機運醸成 (⑤関西広域連合における取組)

- ◆平成28年9月、関西広域連合において、「2025年日本における国際博覧会（大阪開催）について」決議
- ◆本年4月、関西広域連合において、構成府県市、誘致委員会事務局、関西観光本部事務局で構成する「2025日本万国博覧会誘致対策会議」を設置
- ◆構成府県市の広報媒体を用いたPRなど、国内機運醸成の活動を実施中
- ◆8月、関西広域連合議会が、2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致に関する決議を議決

主な国内機運醸成の活動

- (1) 万博誘致ロゴマークを活用したPR
 - 万博のテーマに関連した集客イベント等でのPR
 - 庁舎等でのチラシ・パンフの配布、ポスター掲出
- (2) 構成府県市の広報誌等の媒体を用いた周知
 - 構成府県市のPRツールの活用
 - 刊行物等へのロゴマーク掲載など
- (3) 構成府県市における誘致委員会員拡大への協力呼びかけ
 - 構成府県市内の市町村、商工会連合会、地元商工会議所等の経済団体を中心に参加を呼びかけ
- (4) 構成府県市議会における万博誘致応援決議への協力要請



など

31

4-3 国内機運醸成 (⑥全国都道府県への協力要請・首都圏におけるプロモーション活動)

- ◆本年4月開催の2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟総会（全国都道府県東京事務所長出席）、6月開催の全国東京事務所長総会等において、全国都道府県がもつ広報ツールやイベント等を活用した国内機運醸成の取組みを要請
- ◆7月、全国知事会議において、「2025年国際博覧会の誘致に関する決議」採択
- ◆8月、知事会決議を受けて、全都道府県へ誘致委員会参画及び協力を依頼

主な国内機運醸成の活動

全国的な機運醸成に先駆けて、首都圏における万博誘致PRを実施

- (1) 近畿10府県と在阪鉄道6社が共催する「関西魅力発信イベント」において、万博誘致を強力にPR（9月23日）
このほか、東京スカイツリーにおける情報発信（1～3月）などを予定
- (2) 各都道府県実施の首都圏イベントにおける情報発信 など

32

4-3 国内機運醸成 (⑦民間等における取組)

- ◆民間等において、自社ツールを活用した鉄道駅等におけるPRや、民間主体のイベント等におけるPRが展開。

＜自社ツールを活用したPR＞

銀行ATM画面での誘致PR、主要駅・空港でのPRポスター等掲示、工事団体を活用した誘致PR
＜イベント等でのPR＞
天神祭、梅田ゆかた祭り、道頓堀盆踊り大会、甲子園球場等でのビジョンでのPR動画放映
2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟総会及び万博誘致セミナー



33

4-3 国内機運醸成 (⑧学生による取組)

- ◆大学生を中心とした、ヘルスケアの課題に取組む「inochi（いのち）学生プロジェクト」による「2025大阪万博誘致100の提言」の発表や、若者による万博検討会議の「WAKAZO（ワカゾー）」など、万博に賛同する学生による自主的な取組みが進んでいる。



2016.12 inochi学生プロジェクトからの提案



2017.8 WAKAZOの取組み

34

4-3 国内機運醸成 【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪府・府内市町村～



35

4-3 国内機運醸成 【参考】これまでの具体的取組み例

■大阪よるかじりフェア（東京）



■各種イベントでのPR、パネル・ポスター掲示



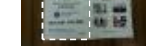
■中秋明月祭(大阪)



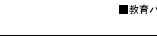
建築材料・住宅設備展2017



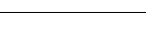
私立中学校



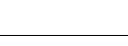
■若台場みんなの夢大陸2017 大阪観光PRステージイベント



■教育ハンドブックへ誘致ロゴマーク掲載



■おもてなし大阪魅力PR事業 □ロゴマーク掲載5回



36

4-3 国内機運醸成 【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪市～



地下鉄駅バスター

職員街/パナ

37

4-3 国内機運醸成【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪市24区役所～



38

4-3 国内機運醸成【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪市×民間～



道頓堀万灯祭（協力：いっとこミ実行委員会）



工事用仮囲いのロゴマーク掲載
(協力：取神電気鉄道株式会社)

39

5 誘致に向けた課題と取組みの方向性

誘致活動の現時点の到達点

■海外誘致活動

- ⇒BIE訪問、アスタナ万博・国際会議の場、在京大使館訪問など各国に対しプロモーション実施
- ⇒大阪・関西・日本における万博開催の意義、大阪・関西の魅力を周知・PR
- ・BIE訪問：総会でのプレゼンテーション、各国駐日大使等に対する働きかけ(約30カ国)
- ・アスタナ国際博覧会：各国のパビリオン等を訪問し、誘致を働きかけ
- ・TICADアフリカ開発会議(アフリカ51カ国が参加)：プレゼンテーション実施、二国間会談における働きかけ
- ・全在京大使館への訪問 等

■国内機運醸成

①誘致委員会会員数

	委員会発足時 (3月27日)	現状 (10月13日時点)
個人会員	27名	114,753名
企業・団体等会員	115社	3,649社
内)スポンサー企業等	44社	98社

②自治体の決議(10月15日現在)

- ・大阪府議会・市町村議会：35団体
- ・関西広域連合構成団体：8団体
- ・自治体・議会の連合会等：6団体 計 49団体

40

5 誘致に向けた課題と取組みの方向性

誘致に向けた課題と取組みの方向性

① 海外誘致活動

- BIE加盟国の少なくとも過半数の支持を獲得するため、引き続き、全方位的な誘致活動を展開する必要。
- 各国の反応をふまえて、国、自治体、経済界等の様々なルートを活用した働きかけを行う。

② 国内機運醸成

- 誘致を勝ち取る圧倒的な機運醸成を示すためには、さらなる取組みが必要。企業・自治体や団体などあらゆる主体による一層の取組みを促進する。
- 首都圏をはじめ内外への知名度向上のため、情報発信力のある著名人の協力を得たPR活動を展開する。

③ BIE現地調査の受け入れ(2018年1～3月予定)

- 大阪・関西が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする万博開催に相応しいポテンシャルを有する都市であることをアピール。
- 機運の高まりを調査団が体感できるよう、受け入れ準備をさらに強力に展開する。
- 賛同者数、自治体決議などの数を増やし、これを数値で明示するとともに、あらゆる主体によるシビリティトレーニングなどを通じ、まち全体に機運醸成を浸透させる。

41



資料2

ビッド・ドシエについて(概要)



2017年9月
経済産業省 博覧会推進室

ビッド・ドシエとは

◆ビッド・ドシエとは

- 立候補国がBIE事務局に提出する正式な立候補申請文書。
- BIE事務局は、開催候補地への調査団訪問を経て、評価レポートを作成。

◆主な目的

- BIEから、開催計画の実現可能性について、技術的審査を受けるための書類であり、調査ミッションの際の基礎資料となる。 ※BIE加盟各国政府にも送付される。

◆今後の主なスケジュール

2017年9月28日	ビッド・ドシエ提出期限
11月15日	BIE総会(第2回プレゼン)
2018年1～3月頃	BIE調査団来日・審査(1週間程度) ※立候補国を順次訪問。訪問順は未定。
6月	BIE総会(第3回プレゼン)
11月	BIE総会(最終プレゼン後、投票により開催地決定)

◆記載内容(BIEより指定された14項目)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 名称、テーマ、および開催スケジュール | 8. 立地条件 |
| 2. 開催意義および期待される効果 | 9. 会場構想 |
| 3. 国内の支持 | 10. パビリオン等の配分 |
| 4. テーマとその目的 | 11. 想定される総入場者数とその客層 |
| 5. テーマの展開 | 12. 来場者と参加者のための宿泊計画 |
| 6. 組織および優遇措置等 | 13. 資金計画 |
| 7. コミュニケーション戦略 | 14. 参加費用の見込み |

1

1. テーマ及びコンセプト

テーマ及びコンセプト

テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン “Designing Future Society for Our Lives”
サブテーマ：①多様で心身ともに健康な生き方 ②持続可能な社会・経済システム

- ・「人」(human lives) にフォーカス。
- ・個々人がポテンシャルを発揮できる生き方と、それを支える社会の在り方を議論。
- ・国連が掲げる2030年のSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献。
- ・日本は官民挙げて「Society5.0」を推進。IoT、AI等の先端技術をフル活用して課題解決。

コンセプト：未来社会の実験場 “People’s Living Lab”

- ・展示を見るだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。
- ・開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ。

開催地：大阪、関西の魅力

- ・ライフサイエンス分野をはじめとした最先端技術と、それを支える様々な企業（中小企業含む）の集積。
- ・歴史、伝統、豊かな文化。旺盛なチャレンジ精神。

3

2. 会場計画の概要

鳥瞰図

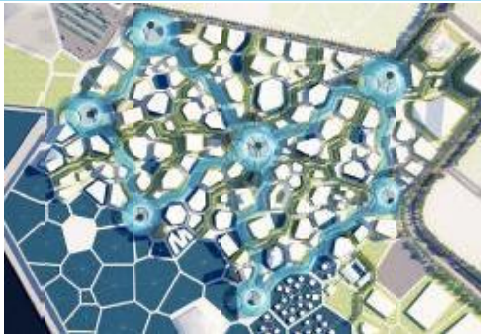
- 会場は、大阪のウォーターフロントに位置する人工島・夢洲（ゆめしま）。
- 会場面積は、155ヘクタール。（※会場中心部にパビリオン等、南側水面に水上施設等、西側緑地にアウトドア施設等をそれぞれ整備。）



5

非中心、離散型のパビリオン配置

- ボロノイパターン（※）を用いた、あえて中心をつくらない離散型の会場デザイン。個と個の関係、多様性の中から生まれる調和と共創によって形成される未来社会を表現。
- 2つのエントランスと5つの大広場をつなぐようにメイン通りを設置し、その上には大屋根を設置。



（※）ボロノイパターン：自然界に存在する基本的で反復的な幾何学パターン。有機的なつながりと成長を象徴。

6

来場者にやさしい会場

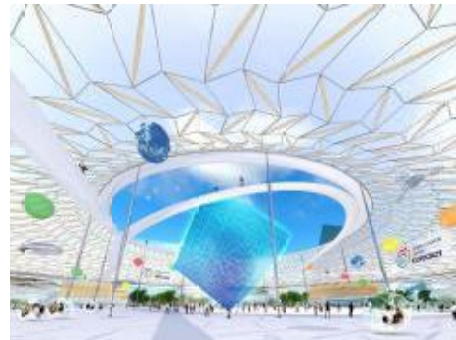
- メイン通りの間をつなぐ通りには水路や緑の並木を整備。
- 暑さ対策も行い、来場者が快適に過ごせる空間を提供。



8

大広場：「空」（くう）

- 会場内の5カ所に「空」（くう）と呼ばれる大広場を設置。
- A R（拡張現実）・MR（複合現実）技術を活用した展示やイベントなどを行い、来場者の交流の場とする。



7

鳥瞰図（南西側）

- 南西側を望む夕景の会場鳥瞰図。
- 淡路島、明石海峡大橋を背景に、美しい景観が広がる。



9

2021年1月8日 2025年大阪・関西万博推進特別委員会 2025年に開催される国際博覧会（大阪・関西万博）の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（2020年12月21日閣議決定） <概要> 2020年12月 内閣官房国際博覧会推進本部事務局	基本方針（全体構成） I. はじめに - 国際博覧会開催の意義 - 日本で開催された国際博覧会の成果 - 大阪・関西万博の意義 - ポストコロナの経済・社会への転換 - 運営の成功に向けた体制 - 政府のこれまでの取組 - 基本方針の策定 II. 基本的な考え方 「いのち輝く未来社会のデザイン」の具体化 - メインテーマ：いのち輝く未来社会のデザイン - サブテーマ：Saving Lives（いのちを救う） - Empowering Lives（いのち力を与える） - Connecting Lives（いのちをつなぐ） 「未来社会の実現」の整備 - カーボンニュートラルを目指す上での大阪・関西万博の形 - デジタル化等を駆使した「新たな万博の形」の提示 - SDGsの達成とその先の社会ビジョン（「SDGs+ beyond」）の構築 - 次世代に誇れる遺産の創出と継承・発展 - 大阪・関西万博を通じた日本の挑戦 - 大阪・関西万博を契機とした多様な文化、価値観の重なりでの創出 - 復興への後押し、日本全体の象徴 - 国際社会の中で輝く日本 - 政府・体となった取組と関係機関との密接な連携の推進 - 明確なガバナンスの確立と施策の効率的・効果的な実行 III. 大阪・関西万博の円滑な準備及び運営 - 各国・国際機関の参加・出展の確保 - セキュリティや安全安心の確保 - 来場者や運営関係者の安全・円滑な輸送 - 会場の周辺インフラの整備等 - ユニバーサルデザインの考えに基づいた整備 - 環境問題への対応 - ICTシステムの構築及び活用 - 外国人来訪者の受入れのための整備 - 大阪・関西万博の機運醸成 - その他
---	--

日本の憲法と国策

国は領域・国民・主権を擁護し、その発展の目的を達成する。

日本の産業政策

日本の産業政策の目的は、国民生活の向上と産業の発展である。

日本の産業政策の目的

日本の産業政策の目的は、国民生活の向上と産業の発展である。

日本の産業政策の目的

日本の産業政策の目的は、国民生活の向上と産業の発展である。

目次 大正・昭和万博の事業構成

しガシーの繼承

[illegible]

夢洲(大阪市臨海部)

大坂・豊田万寿の会館は、夢洲である。夢洲は、大阪市の臨海部に位置する人工島であり、会場者は神戸市内の美しい景観に魅了することである。世界とつながる島と空に囲まれた万寿として、ローテーションを効いた金竹や竹筒を仕掛けて、



テーマ

「いのち輝く未来社会のデザイン」
(Designing Future Society for Our Lives)

[illegible]

サブテーマ

大原・関西万博のテーマである「いのち」をキーワードとして、我々は、「Saving Lives(いのちを救う)」、「Empowering Lives(いのちを力づける)」、「Connecting Lives(いのちをつなぐ)」という3つのサブテーマを設定する。

なれば、サブテーマにおける「Lives」は「生活(daily life)」や「人生(life as a whole)」の意味だけではなく、なれば「いのち・命(生命)」に重目した概念である。

Saving Lives (いのちを救う)

「Saving Lives(いのちを救う)」は、いのちを守る、救うことに重点を当てたものである。「いのちを救う」から想定される具体的な「アード」としては、例えば、公衆衛生の改善による感染症対策、防災・減災の取組による安全の確保、自然との共生が挙げられる。

Empowering Lives (いのちに力を与える)

「Empowering Lives(いのちの力をかえる)」は、「生活」を豊かにする、可能性を広げること、基点を置くものである。「いのちの力をかえる」から想いよめる具体的な「**モノ**」としては、例えば、情報通信技術(ICT)など同じようなものの多い、環境整備の遅延、スロー・パンクを突き通じた健康増進の取組、A|ヤロギティックスの活用による人脈の拡大、肥料の活用があげられる。

Connecting Lives (いのちをつなぐ)

「Connecting Lives(いのちをつなぐ)」は、一人一人がつながり、コミュニティを形成する、社会を豊かにすることへの熱意と志である。いのちをつなぐ」が理想とされる具体例は「ア・フー」としては、例えば、ノース・ナッシュビルで、食料の供給、ITによるコミュニケーションの強化、若者社会の在り方等が挙げられる。

コンセプト

People's Living Lab (未来社会の実験場)

[illegible]

大阪・関西万博の会場建設費について

2020年12月

政策企画部万博協力室

会場建設費（600億円増額の内訳）

約600億円

① 来場者の快適性・安全性・利便性の向上のための施設

【約320億円】

② 参加国、事業者の多様な参加を促進するための施設

・中小企業などの参加機会を拡大するためのメッセ施設
造幣局に隣接する日本銀行

③ 大屋根の整備 【約170億円】

<主なもの>

- ・着せ対策のドライミスト、単独トイレ様の整備
- ・ゲート待ち来場者の雨除け、日除けのため入場ゲート屋根
- ・受変電設備や情報通信設備、ポンプ設備の上屋
- ・グリーンワールドの照明設備
- ・会場内のサービス施設等の面積等の見直し
- ・ウォーターワールドの水質管理

＜主なもの＞

- ・飲食、物販事業者の参加を促進するためのレストランやフードコート、物販施設
- ・中小企業などの参加機会を拡大するためのメッセ施設
- ・迎賓館に隣接する日本庭園

- ・雨除け・日除け機能及び来場者の主動線となる大屋根の設計変更

■従前との比較

■従前との比較	従前 (1,250億円)	見直し後 (1,850億円)
施設整備費（バディオン、徹夜施設、大層浪などの建築費用）	700億円	1,180億円
釜蓋インフラ整備費（電力、ガス、上水、下水、雨水排水、通信などの施設整備費用）	550億円	670億円

■2025年大阪・関西万博 会場建設費 概算事業費

[illegible]

資料1

令和3年8月23日

大阪パビリオン出展基本計画の検討状況について

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会事務局

1

目次

・大阪・関西万博の開催概要	P4
・出展場所（予定）について	P5
・基本コンセプト・めざすもの	P6
・出展基本計画の推進体制について	P8
・空間構成イメージ	P9
・外観イメージ	P10
・展示構成イメージ	P11
・レガシーについて	P15
・建物鳥瞰イメージ	P16
・建物配置図案	P17
・建築スケジュール	P18
・建設・運営資金について	P19
・全体スケジュール	P20

3

大阪・関西万博の開催概要（2025年日本国際博覧会基本計画より）

- 名称
2025年日本国際博覧会 /（略称「大阪・関西万博」）
- 開催期間 2025年4月13日（日曜日）～ 10月13日（月曜日） 184日間
- 開催場所 夢洲（大阪市臨海部）
- 来場者数（想定） 約2,820万人



図説：2025年日本国際博覧会協会

テーマ いのち輝く未来社会のデザイン
「Designing Future Society for Our Lives」

サブテーマ ◆ Saving Lives（いのちを救う）
◆ Empowering Lives（いのちを力を与える）
◆ Connecting Lives（いのちをつなぐ）

コンセプト People's Living Lab（未来社会の実験場）

4

大阪パビリオンの出展場所（予定）について（2025年日本国際博覧会基本計画より）



【参考】2025年大阪・関西万博におけるパビリオン
①公式参加パビリオン
（世界各都府の参加国や国際機関が設置）
②テーマ館（博覧会協会が設置）
③日本館（国が設置）
④自治体館（地方自治体が設置）※大阪パビリオン
⑤民間パビリオン（企業・団体が設置）

新駅「夢洲駅（仮称）」や、東側エントランス
近くの好立地に設置予定。
万博の成否にかかわる重要な位置を占める
パビリオン。

図説：2025年日本国際博覧会協会

5

大阪パビリオンの基本コンセプト・めざすもの（2025年大阪・関西万博出展参加基本構想より）

1. 出展参加でめざすもの

- オール大阪の知恵とアイデアを結集し、「いのち」や「健康」の観点から未来社会の新たな価値を創造するとともに、大阪の活力、魅力を世界の人々に伝えたい
- 世界の先頭にとってSDGsの達成に貢献するため、「SDGs 先進都市」の姿を明確にし、SDGs達成目標の2030年以降を見据えた取組みを世界に発信する

世界に貢献する大阪の姿を示す
➢ 生活の質（QOL）を向上させる展示
➢ SDGs達成に貢献する姿を示す
➢ 未来社会のモデルを提案

大阪のパワーを世界に発信
➢ 世界中からのアクセスを実現
➢ 大阪の魅力を世界に発信

2. 出展参加の主体

～ 産学官民の力を結集し、オール大阪での推進体制を構築 ～



3. 出展参加のテーマ

【テーマに込めた意味】

“人”は生まれ変わる”
すべての人が自分らしい生き方を改めて見つめ直すことで、自分自身の価値観や生きがいの発見・再認識、自己実現への意欲・意図の発露を促し、新たな自分への「生まれ変わり」を齎する取組みを展開する

※ **新たな一歩も踏み出す***

一人ひとりの意欲・意図の発露が具体的な行動変容へとつながり、より良い生活環境、暮らしやすい社会づくりに貢献し、「いのち輝く未来社会」に新たな一歩を踏み出すきっかけとなる

REBORN（リボーン）

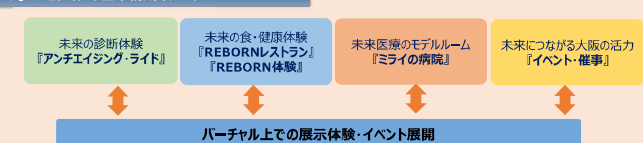
6

大阪パビリオンの基本コンセプト・めざすもの

4. 大阪パビリオンのコンテンツ等の基本的考え方

- 出展参加テーマ「REBORN」のもと、「健康」という観点から、大阪の強みを活かして、ワクワクしながら新しい未来が感じられる展示や催事を実現
- ◆最先端の医療技術やライフサイエンス産業が取り出す近未来への期待を高める
- ◆食や文化、観光などによる交流を促進する場とする

5. パビリオンの基本構成イメージ



バーチャル上での展示体験・イベント展開

6. レガシー

一時的イベントに終わらせることなくハード・ソフト両面でレガシーを残していくことを検討

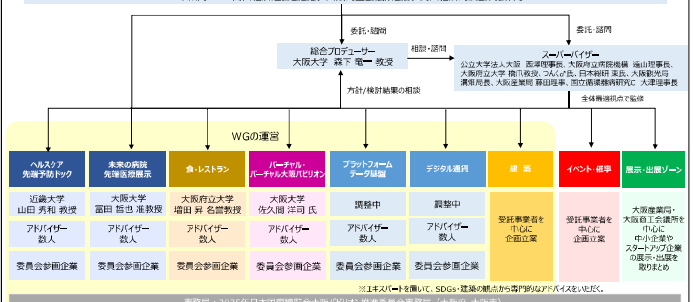
2030年以降の『大阪の成長・経済発展』や『いのち輝く幸せな暮らし』の実現に向けて貢献

7

大阪パビリオン出展基本計画の推進体制について

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会（2021.2.16～）

- 会長 大阪府知事
- 会長代行 大阪市長
- 顧問 関西経済連合会会長 大阪商工会議所会頭 関西経済同友会代表幹事



※上表を補って、SDGs・健康の観点から専門的なアドバイザリーを設ける。

落下総合プロデューサーと事務局による定例会を3年4月以降開議で実施。WGを3年6月から3年次立ち上げ議論中、分科会やアドバイザリーへの積極的アングについて必要に応じて実施。

WG等の検討内容を大阪パビリオン出展基本計画に反映

8

11/20/2016 10:27:41 AM 11/20/2016 10:27:41 AM



※敷地設定については、2025年日本国際博覧会協会と調整中

大阪パビリオンの建築スケジュール

1. 発注手法

- ・万博協会から区画が引き渡される2023年4月以降は、万博会場内の工事ラッシュが見込まれており、かつ、工事の遅滞は許されないため、早い段階での施工業者との契約および4月の工事着手には必須である。
- ・大阪の公民の権を争った出資を行う大規模なパブリックとなることと想定されることから、長期の建設期間を要するうえ、鋼材の需要の高まりを受け、鉄骨資材や杭の調達に期間を要する。そのため、通常の発注方式では4月の着手ができず、契約を6か月前倒しする必要がある。

2021年9月の出席基本計画(案)策定後、速やかに基本設計及び実施設計を行い、2023年4月に工事着工をするため、設計段階から工事施工業者を選定するECI方式を採用し工程を短縮。あわせてECI方式にかかる技術的支援等を行うCM業務を導入し、2024年10月の完成をめざす

※ECI方式とは設計段階から施工者が関与する方式で、今回採用する技術提案・協定タイプは、設計段階から優先交渉権者である施工予定者と技術協力業者の契約を締結し、別の契約に基づき実施している設計に技術提案内容を反映させながら価格等の交渉を行い、交渉が成立した場合には施工の契約を締結するものであり工期短縮が可能

※CM業務とはコンストラクション・マネジャーが中立性を保ちつつ発注者の側に立って、設計・発注・施工の各段階において、設計の検討や工事発注方式の検討、工程管理、品質管理、コスト管理などの技術的・各種マネジメント業務を行うもの

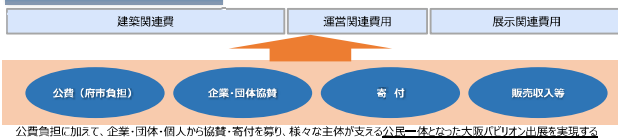
2. 建築スケジュール

年度		2021	2022	2023	2024	2025
建造	計划	建築計畫				万勝閣 建築
	設計開路	選定	基本設計	實施設計	工事監理	
	工事		入札等 招標工程 開標		建築工事	
展示		展示計画	展示設計・製作			展示工事
CM業務		選定				

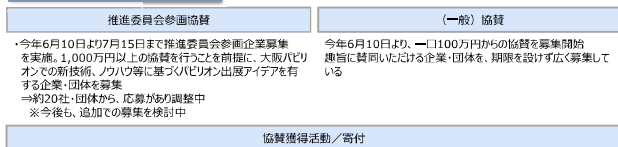
18

大阪パビリオンの建設・運営資金について

1. 大阪パビリオンの財務構成イメージ



2. 協賛活動について



協賛活動業務協力者を募集のうえ委託により大口協賛の獲得活動を行っている
個人・企業からの寄付についても、引き続き呼びかけを行う予定

今年11月頃に企業協賛をはじめ資金の状況を精査のうえ、建築規模等を確定していく

大阪パビリオンの全体スケジュール

- バリオン出展の基本計画については、今年9月には案を公表し年度内に策定。本年度から、施設運営や管理、広報PRローション、催事などの運営計画の策定に切り出し、WGTの出展内容の検討は継続して進め、異体に向けて持論をまとめていく
- 建物建設については、今年9月の出展基本計画において建築計画を公表後、遂やかに基本設計に着手し、2023年4月の工事着工・2024年10月の完成をめざす
- 建設・運営資金を確保するため、経統的に投資資金等の募集に努める
- パネル展示については、公募、制作を経て、今年11月から先行し運用する。来年度以降、順次機能を拡充していく

年度	2021	2022	2023	2024	2025
全体	基本計画策定	運営計画策定		実施計画策定・準備	
		WGによる出展内容の検討			催展期
建築	建築計画	基本設計	実施設計		
		得意協力・設計発注	建設工事		
展示	展示計画		展示設計・製作	展示工事	
協賛金確保			協賛金等募集		
バーチャル	公開・制作	企画展		機軸機能拡充	

0

2025年大阪・関西万博に向けた取り組み

- 「地方自治の発展のためには、地方自治体の行政の効率化とサービスの向上が不可欠である。そのためには、地方自治体の行政の効率化とサービスの向上が不可欠である。」

[illegible]

2025年大阪・関西万博に向けた取組み

- [illegible]

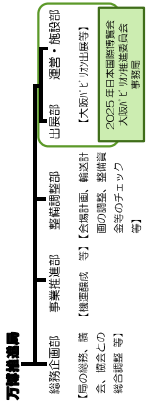
[illegible]

【

万博推進局の共同設置(案)

設置根拠：地方自治法第252条の7第1項の規定により共同して設置する、同法第158条第1項に規定する内部組織

幹事団長	大崎市
勤務公署	大崎市住之江区南港北二丁目1番10号（ATC）
組織	議 議：下図のとおり
人 員	約60名（府：約30名、市：約30名）※派遣者く



局設置にかかる補正予算項目

市及びその市の自治会又は町内会が設置され、その
 中から3名を当市庁舎を管轄し、大分市への負担金に
 1割増し、市税増徴税額に決定しているPR設置費
 ・国庫人員費 費 など
 市税増徴税額に決定されるもの
 ・新設給水施設整備費
 ・新設排水施設整備費
 ・新設給水至給水設備費
 ・新設給水至の所内ネットワーク配設整備費用 など
 ・新設給水至給水設備費
 ・新設排水至排水設備費
 ・新設給水至給水設備費
 ・新設排水至排水設備費

「TEAM EXPO 2025」プログラム

会場前より2025年に向けて、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を實現し、SDGsの達成に貢献するために、**多様な参加者が主体となり**、理想としたい未来社会を共に創り上げることを目指す**取組を推進する**。

	会場前	会期中	会場後
オンライン上	大阪・関西万博テーマのもと、アイデアやメッセージを持ち活動する人々と支える人々が共創するプラットフォーム	発展 ↳連携	レガシーとして継承
会場外 (大阪・関西広域エリア等)		発展 (イベント等) ↳連携	
会場	会場前からの活動成果を会場内のベストプラクティスエリアで披露		

【配付資料6】 令和4年1月25日（火） 委員協議会

令和4年度学生支援の取組（万博推進）		資料 1	
上段 令和4年度財源長官の提議 中核 令和4年度財源長官の提議 下段 令和4年度財源長官の提議		単位 百万円	
一 総合計		額	
令和4年度学生支援の取組（万博推進）		額	
2020日本万国博覧会推進事業費		2020日本万国博覧会推進事業費（大阪・関西万博）	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	
		3,441	
		(3,169)	

[illegible][illegible][illegible]

2025年大阪・関西万博 機運醸成等の取組み

資料 4

2022年度の取組み（予定）

2022年度前倒し開催予定 39,987円/人（仮定※ 長年待機 71,974円/人）

▶大阪府全市が一体となったカウントダウンイベント等を通じて、万博の機運・関心の向上を図る

■大阪府100歳記念イベントPRの取組

- 1000人前（2022/2/18）で完了した万博の機運と向上に持続させるため、府民・市民に向けてPRを実施
 - ▶行政発表による大阪府機運（仮設型）等、行政発表等
 - ▶府民や大阪を支援したPR、▶府民や大阪市内で万博イベント開催、※夢の360度映像放映機
 - ▶シンポジウム開催等、万博イベント動画編集とPRの作成
 - ▶府民への府民支援万博年イベント（仮設型（一斉）等）とリアリティなPR、大阪・関西万博のPRを実施

※※※ 大阪府庁舎の夜景写真

■府民支援万博のイベント等の取組

- ・各団体のイベント等と連携し、イベント等での万博のPRを実施
- ・各団体の万博イベント、区が独自に万博のPRができるよう大阪府民支援を提供すると、各団体の万博事業の取組を促進（万博イベント実施まで支援のPR実施（※））

■府民支援万博の取組

- ・大阪府民支援万博イベント開催と、市民向け、区民向け万博の万博のPRを実施
 - ー大阪府民やオタクやK-POPのファンが会場を巡る、府民向け万博の万博等々N等々等支援すると、府民・市民による万博に関する情報発信と情報収集を促進
 - ー大阪府民や区民が万博イベント（三陸、三陸、東北、南前、中前、北前）で実施する

■万博会場と大阪府との連携イベント等に向けた取組

- ・中野100歳記念イベント開催と実施
- 万博会場との連携による万博会場への万博イベント開催
- 万博会場と連携して万博会場への万博イベント開催
- ・大阪府民支援（※）（2022年7月）の町会を万博会場等との連携によるPRを実施

参考：2022年度の取組み（実績）

▶府会等と連携した大阪府機運向上万博の機運とPR、向上を図る

■府民支援万博のイベント等と連携して万博の機運

- ・各団体の万博イベント開催と万博のPRを実施
- 万博会場と連携して万博会場への万博イベント開催

※※※ 大阪府庁舎の夜景写真

大阪府民支援万博

大阪府民支援万博

大阪府民支援万博

大阪府民支援万博

大阪府民支援万博

大阪府民支援万博

大阪府民支援万博

大阪府民支援万博

大阪府民支援万博

大阪府民支援万博

大阪府民支援万博

大阪府民支援万博

大阪府民支援万博

■大阪府民支援万博イベント開催と実施

- ・大阪府民支援万博イベント開催と実施
- 万博会場との連携による万博会場への万博イベント開催
- 万博会場と連携して万博会場への万博イベント開催
- ・大阪府民支援（※）（2022年7月）の町会を万博会場等との連携によるPRを実施

■府民支援万博の取組

- ・大阪府民支援万博イベント開催と、市民向け、区民向け万博の万博のPRを実施
 - ー大阪府民やオタクやK-POPのファンが会場を巡る、府民向け万博の万博等々N等々等支援すると、府民・市民による万博に関する情報発信と情報収集を促進
 - ー大阪府民や区民が万博イベント（三陸、三陸、東北、南前、中前、北前）で実施する

※※※ 大阪府庁舎の夜景写真

※※※ 大阪府庁舎の夜景写真

※※※ 大阪府庁舎の夜景写真

※※※ 大阪府庁舎の夜景写真

※※※ 大阪府庁舎の夜景写真

※※※ 大阪府庁舎の夜景写真

※※※ 大阪府庁舎の夜景写真

4

資料 大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成アクションプラン(ver1.0) 2022年4月 大阪府・大阪市 万博推進局	目次 1. 基本的な考え方(策定の趣旨) 2. 現状と課題 3. 今後の取組方向と目標 4. 大阪府・市の役割 5. 2022年度取組内容(万博の機運醸成の取組み) 6. 2022年度の実施スケジュール										
1. 基本的な考え方(策定の趣旨) 1 策定の趣旨 ○ 大阪・関西万博の開催まで3年を切った。今後、会場周辺のインフラ整備や交通アクセスの向上、機運醸成、大阪パビリオンの出展準備など、様々な取組みを急ピッチで進めていく必要。 ○ とりわけ、機運醸成については、今年7月には開催1000日前という節目のタイミングを迎えるとともに、来年度には入場券の発売販売を控えているなど、重点的に取り組んでいく局面に立っている。 ○ 言うまでもなく、万博の成功に向けては、全国的な認知度等をさらに向上させ、一人でも多くの人に万博に対する興味や関心、期待感を高めていただくことが重要。 ○ そこで、開催3年前を切ったこのタイミングで、機運醸成の取組みを本格化させていくため、「大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成アクションプラン(ver1.0)」をとりまとめることとする。これに基づき、博覧会協会をはじめ関係機関(都道府県、市町村、経済界等)との連携を深め、協力を得ながら、府内外をターゲットに万博機運を盛り上げていく。 ○ なお、機運醸成については、博覧会協会と一体的に進めていくが、現在、協会において「(仮称)広報・プロモーションマスタープラン」を策定中。今後、その内容を見極めながら、必要に応じて本プランに反映させていくことから、現時点では「ver1.0」としてとりまとめることとした。	2. 現状と課題 2 現状 ※大阪・関西万博の認知度等に関するアンケート調査(2021年9月 大阪府) →全国3000名(府内2000名、府外1000名)を対象としたインターネット調査結果 ● 「万博の認知度」は府内では90%超と高い水準だが、府外の認知度は60%程度と低く、府内外で約30ptの差。 ● 「テーマの認知度」や「万博への興味・関心度」等については、府内でも40～60%程度。 2 課題 ・ 大阪府外での認知度が府内と比べ低い。 ・ 府内でもテーマの認知度や万博への興味・関心度等が低い。 全国的に万博への認知度等をさらに上昇させ、一人でも多くの方々に万博に対する興味や関心、期待感を高めていただくことが、万博の成功の鍵。										
3. 今後の取組方向と目標 今後の取組方向 ▶ 博覧会協会をはじめ、関係機関(都道府県・市町村・経済界等)と連携しながら、府内外に向けて広報やプロモーション活動を展開 ▶ 各主体が有する地域の強みや企業の海外拠点など、あらゆるツール・ネットワークを活用し、大阪・関西から全国、ひいては海外へと機運を盛り上げていく ▶ 開催都市として、まずは府内の機運を高めていく 【進め方】「2025大阪・関西万博推進本部」のもと、全庁で一丸となって取り組む ・ アンケート調査等を活用し、機運醸成の進捗管理を実施 ・ 各部署・区役所等が、様々な機会を通じて、主体的に機運醸成の取組みを展開 1 目標設定 ▶ 機運醸成にあたっては、2025年まで各年度に数値目標を設定し、進捗を管理する。(数値目標については、今後協会が策定する「(仮称)広報・プロモーションマスタープラン」を踏まえ、設定を検討。)	4. 大阪府・市の役割(イメージ) 万博をインパクトに、大阪の成長・発展につなげていく										
5. 2022年度取組内容(万博の機運醸成の取組み) 1/7 2022年度の方針 開催1000日前(7月18日)などの節目のタイミングをとらえて、人々の記憶に残るインパクトのあるイベントの開催など、以下の柱を中心としたPR活動を本格展開していく。 (1)府・市の取組み(行政ネットワークの活用した取組み) ①広くPRを図るもの ②府民・市民参加型の仕掛けによりPRするもの (2)経済団体・企業等と協力・連携した取組み (1)府・市の取組み(行政ネットワークを活用した取組み) ① 広くPRを図るもの 1 府・市、府内市町村の庁舎内や公共施設等への装飾 大阪府・大阪市の庁舎内に、パネルやタペストリー等の装飾を実施。また、府内市町村をはじめ、関係機関に対し、カウンタートラフボードや、ロゴをデザインした下水マンホール蓋の設置、デジタルサイネージでの動画放映、のぼり等の装飾への協力を働きかけ。 1 公用車等を活用したPR ・ 府・市関係部局や府内市町村等の公用車にロゴマークを活用したマグネットシート等を貼り付け、大阪全域でのPRを実施。 ・ EVバス・FCバスやUDタクシーの導入費用補助の対象事業者の協力によるPR。	5. 2022年度取組内容(万博の機運醸成の取組み) 2/7 1 府・市が有する様々なPRツール等を活用した発信 ・ あらゆる機会を活用し、チラシやポスター、ピンバッジ、エコバッグ、衛生用品等のPRグッズの配布や掲示等を実施。 ・ 職員の名刺や、各所置で印刷する冊子・広報物へのロゴマーク掲載、自治体広報紙や使用水量等のお知らせ票などの住民向け配布物を活用したPRの実施。 1 府・市関係部局が実施する万博関連事業と連携したPR ・ 関係部局において実施する万博関連事業等と連携したPRの実施。 【大阪府・市の関係部局での主な取組み例】 <table> <tr> <th>府・市の関係部局</th><th>事業内容等</th></tr> <tr> <td>大阪府 商工労働部 大阪府 経済戦略局</td><td>「空飛ぶクルマ」の実証実験支援等を通じた社会実用性の向上や万博の機運醸成。商店街や店舗の魅力を発信するポータルサイトや、府内・市内の商店街におけるタペストリー、のぼり等の演出を通じて万博の機運醸成を図るPRの実施</td></tr> <tr> <td>大阪府 環境農林水産部 大阪府 環境局</td><td>「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に向けたプラスチックごみ削減の取組みを通じた万博テーマのPR</td></tr> <tr> <td>大阪府 健康医療部</td><td>府内主要駅等で「健活10」の広告ジャックを実施</td></tr> <tr> <td>大阪府 教育庁 大阪府 教育委員会</td><td>博覧会協会が作成した教育プログラムの活用による府内・市内小中学校における万博やSDGs学習</td></tr> </table>	府・市の関係部局	事業内容等	大阪府 商工労働部 大阪府 経済戦略局	「空飛ぶクルマ」の実証実験支援等を通じた社会実用性の向上や万博の機運醸成。商店街や店舗の魅力を発信するポータルサイトや、府内・市内の商店街におけるタペストリー、のぼり等の演出を通じて万博の機運醸成を図るPRの実施	大阪府 環境農林水産部 大阪府 環境局	「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に向けたプラスチックごみ削減の取組みを通じた万博テーマのPR	大阪府 健康医療部	府内主要駅等で「健活10」の広告ジャックを実施	大阪府 教育庁 大阪府 教育委員会	博覧会協会が作成した教育プログラムの活用による府内・市内小中学校における万博やSDGs学習
府・市の関係部局	事業内容等										
大阪府 商工労働部 大阪府 経済戦略局	「空飛ぶクルマ」の実証実験支援等を通じた社会実用性の向上や万博の機運醸成。商店街や店舗の魅力を発信するポータルサイトや、府内・市内の商店街におけるタペストリー、のぼり等の演出を通じて万博の機運醸成を図るPRの実施										
大阪府 環境農林水産部 大阪府 環境局	「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に向けたプラスチックごみ削減の取組みを通じた万博テーマのPR										
大阪府 健康医療部	府内主要駅等で「健活10」の広告ジャックを実施										
大阪府 教育庁 大阪府 教育委員会	博覧会協会が作成した教育プログラムの活用による府内・市内小中学校における万博やSDGs学習										

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 3/7

1 庁内各部署・府内市町村等主催の集客イベントへのブース出展

・大阪府・市の関係部局や、府内市町村等において実施される集客イベントやフォーラム等に万博ブースの出展やグッズ配布等を行い、イベントへ参加する多くのの方々へPRを実施。

【大阪府・市の関係部局主催イベントへの出展例】

府・市の関係部局	開催日	イベント名
大阪府 政策企画部	4月29日 ～5月1日	Warai Mirai Fes 2022 Ready to EXPO 2025
大阪府 府民文化部 大阪府 経済戦略局 大阪府・市万博推進局	4月19日 ～5月15日	2025年大阪・関西万博に向けて めざそう！「10歳若返り」展示
大阪府 経済戦略局	秋頃	御堂筋オートムパーティー2022
大阪府 環境農林水産部	10月15日～ 10月23日	大阪城天守閣 復興90周年記念イベント
大阪府 教育庁	10月23日(予定)	魚庭(なにも)の海づくり大会
大阪府 建設局	2月12日	ワクワドキキSDGs ジュニアフォーラム
大阪府 建設局	10月8日(予定)	こみ蔵フェスティバル
大阪府 建設局	11月12日(予定)	ECO緑日2022
大阪府 建設局	11月5日、6日	はならんまん2022
大阪府 消防局	1月(予定)	消防出初式



市町村主催の集客イベントへのブース出展(2022年10月20日)



大阪府・市の関係部局主催イベントへのブース出展(2022年10月10日)

【府内市町村主催イベントの出展】

- ・府内7地域(三島、豊能、北河内、中河内、南河内、泉北、泉南)ごとに、概ね1万人以上の集客が見込まれるイベントを中心に、適宜出展予定。
- ・なお、大阪市各区での開催イベントにも適宜出展を予定。

7

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 5/7

(1) 府・市の取組み(行政ネットワークの活用した取組み)

2 府民・市民参加型の仕掛けによりPRするもの

1 パーチャル・大阪を活用したPRの実施

- ・パーチャル大阪やYouTube等において、若者をはじめ多数の方々の視聴を期待できるコンテンツを制作・提供。
(例：人気YouTuberを起用した音楽ライブやトークイベント、万博会場となる夢洲の360度映像の放映等)
- ・アバターとして各自が参加することで、楽しみながら万博の理解を深める。



「パーチャル大阪」のイベント(2022年12月19日)

2 SNSやHPを活用した情報発信

- ・イベント等の実施時など、タイムリーにTwitter等のSNSやHPを活用して情報発信を実施。
- ・府民・市民をインフルエンサーと見立てて、府内市町村との連携イベント等での万博PRブースの出展時に、訪れた方々自らSNSで情報発信を行っていただく。



大阪府Twitterを活用した情報発信

9

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 7/7

(2) 経済団体・企業等との協力・連携

1 公共交通機関等への働きかけ

- ・公共交通機関等(電車、バス、タクシー、トラックなど)の車両装飾や車内広告、主要駅・空港でのポスターやデジタルサイネージ等の実施に向け、博覧会協会と連携して、事業者への協力を要請。



ラッピングトラック(イメージ)

2 シティドレッシング

- ・多くのの方々の目に触れる屋内外の様々な場所において、ポスターやのぼり、街頭パナーの掲出、デジタルサイネージを活用したPR動画の放映など、各施設を管理する関係機関に対し、博覧会協会と連携し、効果的なタイミングで協力を要請。



ATCデジタルサイネージを活用したPR

3 ロゴマーク等の商用利用の促進

- ・博覧会協会におけるライセンス事業開始にあわせ、企業によるロゴマーク等の商用利用を促進。

4 経済団体・企業等によるPR

- 経済団体や、府・市の包括連携協定締結企業をはじめとする各種企業が有する様々なPRツールやネットワーク等の活用に向けて、働きかけを実施。
(主な取組イメージ)
- ・企業広報誌や広告、パンフレット等へのPR記事の掲載
- ・各企業や団体等のHPやSNS等でPR
- ・大規模集客イベント等の場を活用したPR
- ・企業の海外支店等を通じた情報発信 等

11

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 4/7

府内市町村や関西広域連合、全国知事会等によるPR

- ・大阪、関西、全国、海外に向けたPRを実施できるよう、博覧会協会と連携を取りながら、関係機関が有する様々なPRツールやネットワーク等の活用に向けて、働きかけを実施。

【関係機関等による主な取組イメージ】

連携先	取組イメージ
府内市町村	・講演会や集客イベント等で府民・市民が訪れるタイミングでチラシの配架 ・庁舎内や道の駅など府民・市民が訪れる場所へののぼりやポスターなどを設置 ・庁舎内のデジタルサイネージ等を活用して、PR動画等を放映 ・市町村が発行する広報紙等の寄附物や公用封筒、各種PRグッズ等に万博のロゴ等を掲載 ・市町村の有するHPやSNS等での配信
関西広域連合 全国知事会 等	・各自自治体で発行する広報紙等の寄附物等へのPR記事の掲載 ・各自自治体が所管する公共施設等におけるPRツールの設置
大阪観光局	・大阪への国内・海外旅行客向け誘客の取組と連携したPR
国、政府機関 等	・国やJETRO(日本貿易振興機構)等を通じた海外向けのPR ・国等会議や駐日大使等の表敬訪問等を捉えたPR

8

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 6/7

「万博の桜2025」の取組みの加速化

- ・万博の機運醸成を図るため、多くのの方々からの寄付(1口1万円)をもとに、2025本の桜を植樹し、記念に寄附者のネームプレートを設置(2020年4月～)。
- ・これまで同様、様々なPRツールで幅広く寄附の募集を呼びかけるとともに、企業等への積極的な働きかけを実施。加えて、植樹の様子や場所、寄附金額の進捗状況などをタイムリーにHPやSNS等で発信。



「万博の桜2025」チラシ

万博の開催意義やテーマ等の理解促進

- ・万博の開催意義やテーマ等の理解促進につなげていくため、大阪・関西万博に関連する講演やパネルディスカッションなどを実施。
- ・万博のテーマ等を大人から子どもまでわかりやすく伝えるプロモーション動画を作成し、府・市の庁舎や市町村のイベント等で放映。
- ・加えて、児童・生徒向けのポスターや高校生用の冊子を作成・配布。



2022年大阪府万博・国・府・市・県・市町村合同PRイベント(2022年4月20日)

10

6. 2022年度の実施スケジュール(予定)

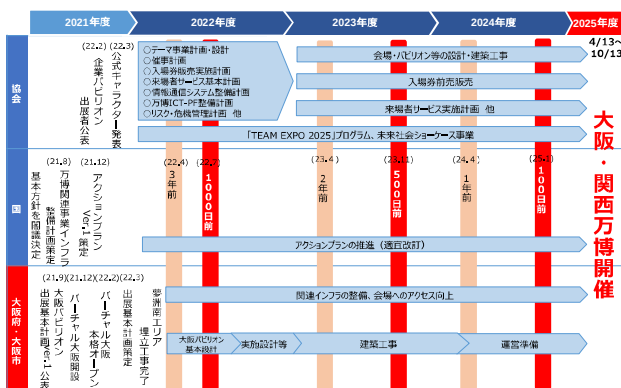
コロナ感染拡大の状況等を見極めつつ、まずは1000日前(7/18)など節目のタイミングにおいて、関係機関と連携した取組を展開。

	2022年度上半期	2022年度下半期
協会	○3年前イベント(4月) ●ライセンス事業開始	○テーマソング第一弾の発表 ○ロゴマーク・キャラクター等の活用
大阪府・大阪市	●協会との連携イベント ●庁舎内・公共施設等の活用 ●公用車等を活用したPR ●公共交通機関等への働きかけ ●シティドレッシング ○万博の桜2025の取組の加速化 ○パーチャル大阪を活用したイベント実施 ○SNSやHP、PRツールを活用した情報発信 【関係部局実施の主な万博関連事業】 ●商店街を活用したPR ○「建太10」×「万博」広告ジャック	○プロモーション動画、冊子の作成 ○講演会等の開催
【主なイベントへのブース出展】	○「Warai Mirai Fes」 ○「10歳若返り展示」	○大阪城天守閣復興90周年記念イベント ○「御堂筋オートムパーティー」 ○「ワクワドキキSDGsジュニアフォーラム」
経済団体	○府内市町村・関西広域連合や全国知事会、経済団体等によるPR	

※上記以外にも万博機運の盛り上げにつながる広報・プロモーション活動を適宜実施。

12

(参考) 2025年までのスケジュールイメージ(全体像)



13

【配付資料 8】 令和 4 年 8 月 30 日（火） 委員協議会

[illegible][illegible][illegible]

機運醸成に関する取組み

資料 4

1. 開催1000日前を契機とした取組み

- **1000 Days to Goの取組**
 - 開催1000日前となる1月18日、博覧会協会（主）・経済界と連携し、取組を実施。
 - 「1000 Days to Go」をテーマとしたイベントを開催。このイベントを通じて、開催1000日前イベント「1000 Days to Go」を開催（図表1）。
 - 公式SNS「X（旧Twitter）」・「YouTubeチャンネル」にて、開催1000日前イベント「1000 Days to Go」を開催（図表2）。
 - 「ロケット・キャノン」を起用した万博「P」
 - 西予市役所内では直営店として、1000日カウントダウンを想ったカクタンワンプや、ロケットケーキ、タイムス などを販売し、客需喚起。
 - カクタンワンプのデザインと想いを共同開発した他、全道各地の百貨店・家電店などでも、さまざまな取組を実施。このイベントで、西予市が所有する公営施設「キャノン」のデザインを施した、スチールアート制作する協力店。

「1000 Days to Go」をテーマとしたイベントを開催（図表1）

「1000 Days to Go」をテーマとしたイベントを開催（図表2）

2. 関係機関との連携したPR・情報発信

- **関係機関との連携したPR・情報発信**
 - 「西予市役所内では直営店として、1000日カウントダウンを想ったカクタンワンプや、ロケットケーキ、タイムス などを販売し、客需喚起」との取組をテーマとしてに加え、市内内外から「キャノン」を起用するさまざまな集客イベントを通して、主催者側とするチーム・力づくでカクタンワンプ（カクタンワンプ、タイムス、カクタンワンプ）を配信。このイベントを通じて、関係機関との連携したPR・情報発信を実施（図表3）。
- **関係機関との連携したPR・情報発信**
 - 大分県内では、各メディア・関係機関と連携し、開催1000日前イベント「1000 Days to Go」の開催を契機とした取組を実施（図表4）。

- 万博開催前夜 6月1日
 - 広域での開催地の取組について広く発信。

- 開催前夜 7月19日
 - 1000日前イベントについて情報発信、開催地を広く発信。

- 公式SNS 7月20日
 - 大分県内では2025年日本国際博覧会（国産本博）と、大分・福岡両方面の取組に加え、全国から集客するさまざまな集客イベントを通して、主催者側とするチーム・力づくでカクタンワンプ（カクタンワンプ、タイムス、カクタンワンプ）を配信。
 - 大分・福岡両方面の取組に加え、全国から集客するさまざまな集客イベントを通して、主催者側とするチーム・力づくでカクタンワンプ（カクタンワンプ、タイムス、カクタンワンプ）を配信。

（全道各地に於て）

3. 万博開催2025

- 大分・福岡の両方面の取組に加え、全国から集客するさまざまな集客イベントを通して、主催者側とするチーム・力づくでカクタンワンプ（カクタンワンプ、タイムス、カクタンワンプ）を配信。このイベントを通じて、関係機関との連携したPR・情報発信を実施（図表5）。
- 開催前夜 6月1日
 - 広域での開催地の取組について広く発信。
- 開催前夜 7月19日
 - 1000日前イベントについて情報発信、開催地を広く発信。

4. 地域活性化のテーマとしてのデザイン戦略

- 2025年6月18日、国産本博の開催地・福岡・博多・天神・博多駅前・博多駅周辺地区の活性化をテーマとした「2025年国産本博の開催地・福岡・博多・天神・博多駅前・博多駅周辺地区の活性化をテーマとした」を開催。このイベントを通じて、関係機関との連携したPR・情報発信を実施（図表6）。
- 開催前夜 2025年7月19日
 - 大分県内では2025年日本国際博覧会（国産本博）と、大分・福岡両方面の取組に加え、全国から集客するさまざまな集客イベントを通して、主催者側とするチーム・力づくでカクタンワンプ（カクタンワンプ、タイムス、カクタンワンプ）を配信。

- 開催前夜 2025年7月19日
 - 大分県内では2025年日本国際博覧会（国産本博）と、大分・福岡両方面の取組に加え、全国から集客するさまざまな集客イベントを通して、主催者側とするチーム・力づくでカクタンワンプ（カクタンワンプ、タイムス、カクタンワンプ）を配信。

- 開催前夜 2025年7月19日
 - 大分県内では2025年日本国際博覧会（国産本博）と、大分・福岡両方面の取組に加え、全国から集客するさまざまな集客イベントを通して、主催者側とするチーム・力づくでカクタンワンプ（カクタンワンプ、タイムス、カクタンワンプ）を配信。

1,000円以上の寄付で1万円～10万円を目標

【配付資料 9】 令和 4 年 12 月 5 日（月） 委員協議会



OSAKA KANSAI JAPAN
EXPO2025

2025年日本国際博覧会
(大阪・関西万博) について

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 12月5日

[illegible][illegible]

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 概要②

【事務局組織図】

2019年1月30日
法人設立

2019年4月19日
万博特別指置法成立

2019年5月31日
経済産業大臣が当協会を博覧会
業務を行政法人に指定

2019年10月21日
内閣府より公益認定を受け、
「公益社団法人」になる

会場デザイン プロデューサー		会場運営 プロデューサー		テーマ事業 プロデューサー			
藤本 壮介 建築家	石川 勝 フジテレビ プロデューサー	宮田 祐章 東京農業大学助教授	石黒 浩 大浜大学学長 教授、 大田区立美術館の館長 美術員	中島 さち子 作家、芸術評論家、 テレビ番組作家	菊池 伸一 メディアアーティスト		
							
専事企画 プロデューサー 小林 賢児 クリエイティブディレクター		福岡 伸一 生物学者、 数論学者、 大田区立大学 教授		河森 正治 アニメーション監督、 脚本家	小山 薫堂 放送作家、 芸術家、 大田区立大学 学芸員	河瀬 直美 映画作家	
							



シニアアドバイザー

● 協会における重要課題や専門的事項について、専門知識や技術、経験等を有する方から助言を受けるため、シニアアドバイザーを設け

 安藤 忠雄 建築家 photo by 長瀬洋次		 池坊 専好 華道宗元・池坊次元家	
 河瀬 圭美 映画監督 ©A.F.S.T. INC		 ロバート キャンベル 早稲田大学名誉教授	
 ウスビ・サコ 京都府立大学 前学長 / 金沢市立美術館 人形展デザインプログラム 展覧		 千 家室 花道重千家宗元	
 山根 孝一 総合映像視覚学 研究科長		 山崎 直子 宇宙飛行士 ©NASA	
 大崎 洋 吉田組建設・ホールディングス株式会社 代表取締役専任役員		 桂 文枝 落語家	
 コシノ シュンコ デザイナー		 五神 真 東京大学大学院 理学系研究科 教授	
 西尾 章治郎 大塚大学校長		 宮田 亮平 金工作家	
 吉田 潔司 国立民族学博物館 館長			

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催概要

- 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現する様々な参加形態や事業、会場のデザインを含む会場計画、運営計画、資金計画等をまとめた協会のマスタープラン「基本計画」を2020年12月25日策定・公表
- 基本計画に基づき、参加国・国際機関への招請活動や企業、団体・自治体・市民団体等の参加と共創を促進するとともに、各事業の実施計画の策定や具体的な取り組みを推進



開催概要

名称 テーマ サブテーマ コンセプト 会場 開催期間 想定来場者数	2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博） いのち輝く未来社会のデザイン Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちの力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ） People's Living Lab（未来社会の実験場） 夢洲（ゆめしま）（大阪市此花区） 2025年4月13日～10月13日 約2,820万人
--	---



会場デザイン① ～世界とつながる海と空に囲まれた万博～

- 四方を海に囲まれた会場ロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」に囲まれた万博としての会場デザイン及び企画などを実施。
- 「非中心・離散」の理念によって多様性を鼓舞し、そこに「つながり」を重ね合わせた「多様でありながら、ひとつ」をデザイン。





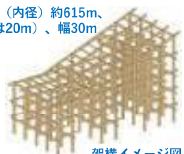




会場デザイン② ～大屋根（リング）～



円周約2km、直径（内径）約615m、高さ12m（外側は20m）、幅30m



架構イメージ図

リング1F：グラウンドウォーク

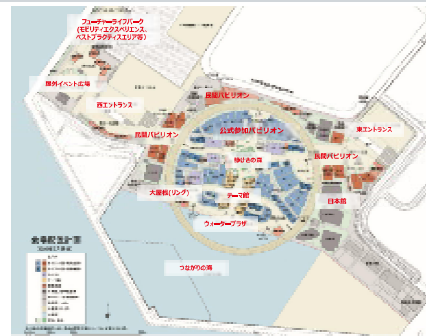


リング2F：スカイウォーク



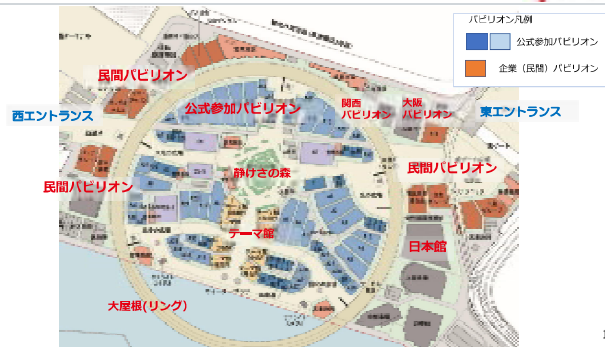
9

会場レイアウト①（会場予定地 約155ha）



10

会場レイアウト② パビリオン



11

公式参加パビリオン

- 大阪・関西万博の3つのサブテーマを通じて、テーマの実現を目指す。
- 世界各国の公式参加者（参加国や国際機関）は、それぞれの立場からSDGs達成に向けた優れた取り組みを持ち寄り、会場全体でSDGsが達成された未来社会の姿を描く。

サブテーマ 一つ以上を選び	公式参加パビリオンのテーマ展開のトピック例	SDGs 17のゴール 一つ以上に取り組み
Saving Lives （いのちを救う）	防災・防災の推進、健康寿命の延伸、災害時の対応（避難、避難生活、避難生活の改善、避難生活の改善）	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
Empowering Lives （いのちを元気づける）	自己実現、ファッション、文化、芸術、スポーツ、学び、教育、職業、ライフ・ワークスタイル、産業発展、エンターテインメント	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
Connecting Lives （いのちをつなぐ）	デジタル活用、地球環境を考慮した行動、気候変動への対応、等	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17

150の国及び25の国際機関の参加を目指す

12

企業・団体等の参加 ～多様な参加形態を用意～

- 企業・団体等とともにテーマの実現をめざすパートナー。大阪・関西万博では、これまでの万博よりも幅広い、多様な参加形態を用意。
- パビリオン出展、テーマ事業協賛、未来社会ショークース事業参加、「TEAM EXPO 2025」プログラム参加、催事参加、営業参加、会場建設費等への寄附等

パビリオン出展 万博のテーマに沿って自由な発想で独自に企画・出展する参加 募集終了	テーマ事業協賛 8名のプロデューサーが企画するテーマ事業に協賛社として参加 資金 施設・物品・役務提供	未来社会ショークース事業出展 会場内で未来社会の実証・実装やテーマを具現化する展示を行う参加 事業出展 資金・施設・物品・役務提供		
会場整備参加 運営参加 施設・物品・役務提供	TEAM EXPO 2025 参加 共創チャレンジ 共創パートナー	催事参加 資金・施設・物品・役務提供	営業参加 営業施設出店 ライセンスビジネス	万博応援参加 広報・プロモーション 寄附

13

民間パビリオン出展者が構想概要を発表(2022.5.30)

- （五十音順）
- ・飯田グループホールディングス株式会社
 - ・住友EXPO2025推進委員会
 - ・特定非営利活動法人ゼン・ジャパン
 - ・玉山デジタルテック株式会社
 - ・電気事業連合会
 - ・一般社団法人日本ガス協会
 - ・日本電信電話株式会社
 - ・株式会社バンダイナムコホールディングス
 - ・株式会社パナソニック
 - ・パナソニックホールディングス株式会社
 - ・三菱大阪・関西万博総合委員会
 - ・吉本興業ホールディングス株式会社



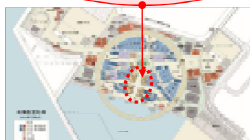
14

テーマ事業の概要

テーマ事業名称	いのちの輝きプロジェクト
テーマ事業の構成	「いのちの輝き」を語り、深め、未来に残すことを象徴するパビリオンとイベントで構成する

シグネチャーパビリオン

8人のプロデューサーによる展示で会場内最大規模の領域型パビリオンを構成



シグネチャーイベント

会場の内外でイベントを実施

シグネチャーの意義
万博を象徴する特別な事業でありたいという思いを「シグネチャー」という言葉に込めた。そして、テーマ事業が、その特徴であるクリエイティブ・ドリブンによって、8人の専門家が、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」でもあり得る。

15

テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」のコンセプト・展示イメージ



大阪・関西万博テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」基本計画を4月18日に発表

16

未来社会ショーケース事業の全体フレーム

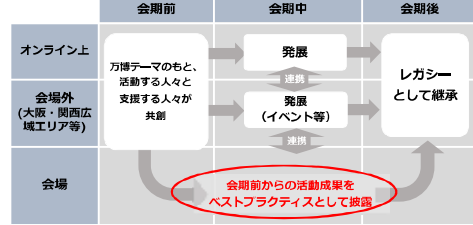


17

「TEAM EXPO 2025」プログラムへの参加

- 会期前より2025年に向けて、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、**多様な参加者が主体となり**、理想とした未来社会を共に創り上げることを目指す取組みの推進を推進。

- 共創チャレンジ及び共創パートナー、計1,015件登録（2022年10月末時点）



18

「TEAM EXPO 2025」プログラム ～具体的活動例～

- 共創チャレンジ** 本万博のテーマの実現、SDGs達成の貢献に向けた多様な活動

- （活動例）**
- ・産官学が連携し、持続可能な地域づくりをめざす活動
 - ・小中学生が子どもたちが、SDGs達成を目指すロボット制作を通じて世界の子どもと共創を進める活動
 - ・アート・デザインの力を活用したSDGsの発信、社会活動
 - ・企業（ベンチャー企業、中小企業、大企業）がSDGs達成への貢献の元に進める新規事業活動
 - ・万博の機運醸成に関する活動（学校、企業、団体、様々なレベルで）
 - ・主催者イベントを盛り上げる物品の提供等
 - ・その他、環境エネルギー、健康医療、観光など様々なテーマにおける活動

- 共創パートナー** 多様な活動を創出・支援する企業・団体



キーワード
SDGs Society5.0
共創（Co-Creation）
多様なセクターの参加

19

公式キャラクター ミヤクミヤク（MYAKU-MYAKU）

ミヤクミヤク（MYAKU-MYAKU）

「ミヤクミヤク」について
細胞と水がひとつになったことで生まれた、ふしぎな生き物。その正体は不明。赤い部分は「細胞」で、丸がたり、動きたりする。青い部分は「水」で、流れる様に形を変えることができる。なりたて自分を探して、いろいろな形に変えているようで、人間をまねた姿が、今の姿。但し、姿を変えずに、元の形を忘れてしまうことがある。
外に出て、太陽の光を浴びることが元気の源。雨の日も大好きで、雨を体に取り込むことが出来る。結果的に自分のことを皆さんに知ってもらい、2025年に開催される大阪・関西万博で多くの人に会えることを夢見ている。

【出生地】関西のどこかにある小さな湧き水。
【性格】人懐っこいが、おっちょこちょいよくボカをする。
【特技】色々な形に姿を変えられること、雨上がりには虹を見つけること。
【好きなこと】あらゆる生き物や物事と触れ合うこと。

【優勝コンセプト】
受賞者（川野大志さん、1984年生）
今まで「熊」に受け継がれてきた私たちのDNA、知恵と技術、歴史や文化。夢見自在なキャラクターは更にあらゆる可能性をその身に蓄して、私たち人間の素晴らしいところから「熊」として未来に受け継いでいってほしい。そんな希望を込めて「熊」ミヤクミヤクと名付けました。またミヤクミヤクであり、生命そのもの。ミヤクミヤクという2音が響く様は、命が感じられる音にも聞こえます。
受賞者（作田陽向さん、2002年生）
初めてキャラクターを見たとき、赤色と青色が動脈と静脈を連想させたため。また、万博のテーマである、人類文明のつながりや、国際的なつながりを、「熊」という言葉で表せられると思った。

20

オフィシャルテーマソング『この地球（ほし）の続きを』を発表（コブクロ）

このたび、大阪・関西万博初のオフィシャルテーマソングとして、アンバサダーのコブクロさんによる書き下ろしの新曲『この地球（ほし）の続きを』が完成しました。

7月18日（月・祝）にユニバーサル・スタジオ・ジャパンで開催した、大阪・関西万博開幕1000日前イベント「1000 Days to Go!」で初披露。

【オフィシャルテーマソング専用ページ】
<https://www.expo2025.or.jp/overview/themesong>

※万博の機運醸成につながる目的であれば無償でテーマソングをご使用いただけるよう、今後協会公式Webサイトで使用申請の受付を行う予定です。

21

アンバサダー・スペシャルサポーターの活用

“大阪・関西万博の顔”として万博の魅力を伝える「2025年日本国際博覧会協会アンバサダー」
“大阪・関西万博の応援団”としてその発信力を活かす「大阪・関西万博スペシャルサポーター」
これまで国内外での機運醸成活動（PR映像・イベント等）にご活躍いただいています。

アンバサダー	スペシャルサポーター
コブクロ（ミュージシャン）	ポケモン（キャラクター）
佐渡 裕（俳優）	ボリマコ（世界最大級シーサー船）
ダウンタウン（タレント）	
宝塚歌劇団（エンターテインメント）	
松本 幸四郎（歌舞伎俳優）	
山中 伸徳（京都大学名誉教授）	

※アンバサダー・スペシャルサポーターは今後の順次、随時予定

22

[illegible][illegible]

機運醸成に関する取組み

1.式典・関係方向けするアンダープログラム（機運醸成アクションプログラム）

全通300人対外関係者（2023年12月）

対内 対外関係者

項目	対外関係者	対内	対外関係者
対外関係者の招待	1,400人	1,400人	1,400人
方陣への対話機会	1,400人	1,400人	1,400人
機運醸成イベント	1,400人	1,400人	1,400人

（※前年比）

項目	対外関係者	対内	対外関係者
方陣の招請回数	1,400人	1,400人	1,400人
方陣への対話機会	1,400人	1,400人	1,400人
機運醸成イベント	1,400人	1,400人	1,400人

② 関係者の動向

・関係者の動向

・方陣の招請回数（R3:80.89%-R4:82.26%）**方陣への対話機会**（R3:27.5%-R4:36.5%）
 は一貫して毎年増加

・機運醸成イベント（R3:51.9%-R4:41.2%）**対外関係者の招待**

・対外関係者への招待は増加傾向、方陣の招請回数は年々減少傾向、方陣への対話機会は年々増加傾向

・海外向け

・海外向け：認知度を高める、全員の海外関係者への招待、西側国は収支増減の目標が低い

・若年層向け

・方陣の招請回数：若年層は若い世代に多い傾向

・方陣への対話機会：若年層の多い傾向、年齢層による差は大きい

2.2023年度アンダープログラムについて

機運醸成に向けた方陣の招請

2023年度海外アンダープログラム（機運醸成）2023～2024年度（20,000人）

（※参考：2023年11月5日時点（前年度2022～2023年度 40,000人））

アンダープログラムや各種の機運が創出された課題を踏まえ、2023年度海外アンダープログラムについて

- ・海外、とりわけ自給自足と関係性が高い
- ・海外でも、未開拓市場は低下
- ・若年層が中心（なかの若年層は増加傾向）
- ・海外向けに2）招待の必要性について再評価

- ① 金銭的の負担強化
- ② 招待でつながる関係の構築
- ③ 若年層への招待強化
- ④ 海外への招待強化

③2023年度の主な取組み

① 金銭的の負担強化

- ・招待費前年（4月13日）：300日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：400日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：500日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：600日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：700日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：800日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：900日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：1,000日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：1,100日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：1,200日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：1,300日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：1,400日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：1,500日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：1,600日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：1,700日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：1,800日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：1,900日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：2,000日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：2,100日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：2,200日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：2,300日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：2,400日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：2,500日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：2,600日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：2,700日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：2,800日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：2,900日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：3,000日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：3,100日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：3,200日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：3,300日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：3,400日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：3,500日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：3,600日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：3,700日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：3,800日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：3,900日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：4,000日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：4,100日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：4,200日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：4,300日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：4,400日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：4,500日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：4,600日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：4,700日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：4,800日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：4,900日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：5,000日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：5,100日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：5,200日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：5,300日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：5,400日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：5,500日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：5,600日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：5,700日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：5,800日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：5,900日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：6,000日前（11月30日）
- ・招待費前年（4月13日）：6,100

[illegible][illegible][illegible]

資 料

2025年大阪・関西万博推進特別委員会 報告書（構成案）

〇はじめに

1 委員会の概要

- （１）委員会の設置目的
- （２）調査検討項目
- （３）運営方法

2 審 議 経 過

3 審 議 概 要

4 主な提言・提案等のとりまとめ

5 委員会設置要綱

6 委 員 名 簿

資料2 2025年大阪・関西万博推進特別委員会 委員長報告（案） 2025年大阪・関西万博推進特別委員会 委員長の徳村 さとるでございます。 本委員会は、2025年大阪・関西万博の成功に向けて、効果的な推進方策について調査研究等を行うことを目的として、令和元年5月に設置され、約4年の間に委員会及び委員協議会を合計12回開催してきました。 この間、委員会等では、機運醸成の取り組みやインフラ整備計画をはじめとした関連事業計画等、主に万博の取組みに関する現状について、理事者等から説明を聴取するとともに、質疑を通じて様々な課題を掘り起こし、多角的な観点から議論を重ねてきました。 中でも、令和4年6月には、翌月に万博開催1000日前のイベントを控えたことから、さらなる機運醸成の取組みを中心に、理事者と議論を深めました。 また、同年12月には、万博の実施主体である、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会をお招きし、会場整備をはじめ、機運醸成の取組みや運営等について、活発な議論を交わしました。 その結果、万博の開催、そして成功へとつながっていくため、「会場の整備等の着実な推進」など、5項目について具体的な提言等を取りまとめるに至りました。 知事はじめ理事者におかれましては、万博の開催に向けたさらなる機運醸成や着実な準備活動等について、関係機関との緊密な連携のもと、本報告書の提言等も踏まえつつ、取組みを進められるようお願いいたします。 最後に、本委員会の役割は、一旦終えることになりましたが、今後、万博の取組みが本格化することから、成功に向け、引き続き大阪府議会として、理事者とともに取り組んでいく必要があることを申し添えて、本委員会の報告といたします。 ご清聴ありがとうございました。	資料1 2025年大阪・関西万博推進特別委員会 報告書（案） (令和元年5月～令和5年3月) 大阪府議会 2025年大阪・関西万博推進特別委員会
---	--